

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness



2025



森記念財団
MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2025」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
136 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
特集研究	25
指標の定義	29



Japan Power Cities WEB SITE
www.mori-m-foundation.or.jp/ius/jpc

はじめに

2024年の日本の総人口は推計1億2380万人余となり、14年連続で減少しました。日本人の人口は前年より約90万人減少という過去最大の減少幅を記録した一方、外国人人口は2024年末時点で370万人を超え、過去最高に達しました。昨年は訪日外国人旅行者数も約3700万人と過去最高を記録するなど、日本社会の多様化が急速に進展しています。また、75歳以上の高齢者割合が16.8%に達する一方、15歳未満の人口割合は11.2%と過去最低となり、少子高齢化の加速も鮮明となりました。

こうした人口構造の変化に加え、都市を取り巻く環境も大きく変化しています。環境面では、2024年夏の全国平均気温偏差が+1.76℃と統計開始以降最高を記録し、地球温暖化の影響が都市の生活環境に深刻な影響を与えています。また、社会インフラについては、高度経済成長期に集中的に整備された道路橋や河川管理施設、港湾施設などが建設後50年以上を経過し、老朽化の進行により適切な維持管理が喫緊の課題となっています。

このように急激な人口減少と少子高齢化、外国人人口の増加、インフラの老朽化、環境変化など、複合的な課題に直面する中で、各都市がいかに持続可能性と魅力を両立させていくかは、これまで以上に重要な課題となってきています。特に、外国人人口の増加や観光客数の過去最高記録は、都市の国際化対応力や多文化共生のあり方を問うものとなっています。また、記録的猛暑の頻発は、都市の環境適応力や住民の生活品質維持において新たな指標の必要性を示唆しています。

森記念財団都市戦略研究所が2018年から継続している「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC)」も8年目を迎え、時代の変化に対応した評価体系の見直しを続けておりますが、今後もさらなる改善を図ってまいります。日本全体が活力を維持し続けるためには、人口減少時代においても各都市が独自の強みを活かし、環境変化に適応しながら魅力を高めていくことが不可欠です。JPCが、こうした激動の時代における都市政策立案のベンチマークとして、また持続可能な都市発展のための戦略策定に役立てられることを期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長

市川 宏雄

2025年9月



「日本の都市特性評価 2025」とは

About JPC-2025

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学
空間情報科学研究センター
特任教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
名誉教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

政策研究大学院大学
客員教授、
日本大学名誉教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京科学大学
名誉教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東京大学名誉教授、
東洋大学名誉教授



吉見 俊哉

Shunya Yoshimi

國學院大学
観光まちづくり学部
教授

意見
助言

評価手法

▶ Creating Framework



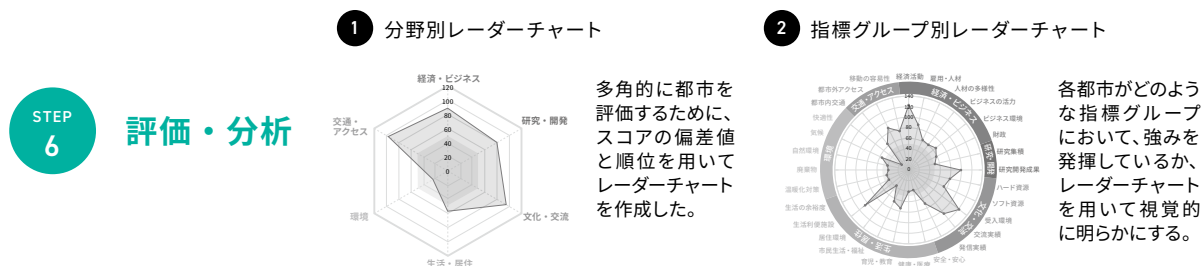
▶ Data Collection



▶ Indexation



▶ Evaluation and Analysis



対象都市

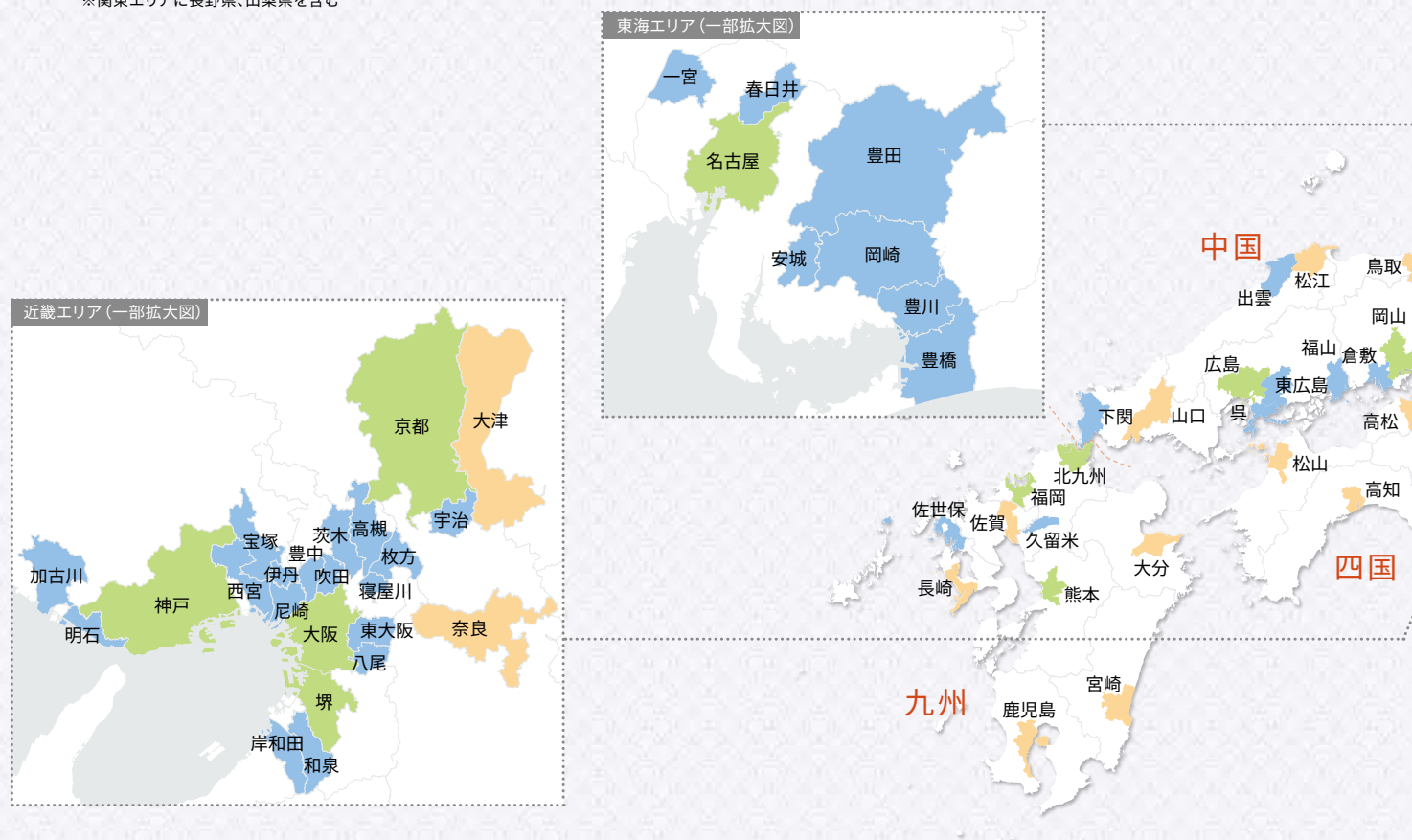
Target Cities

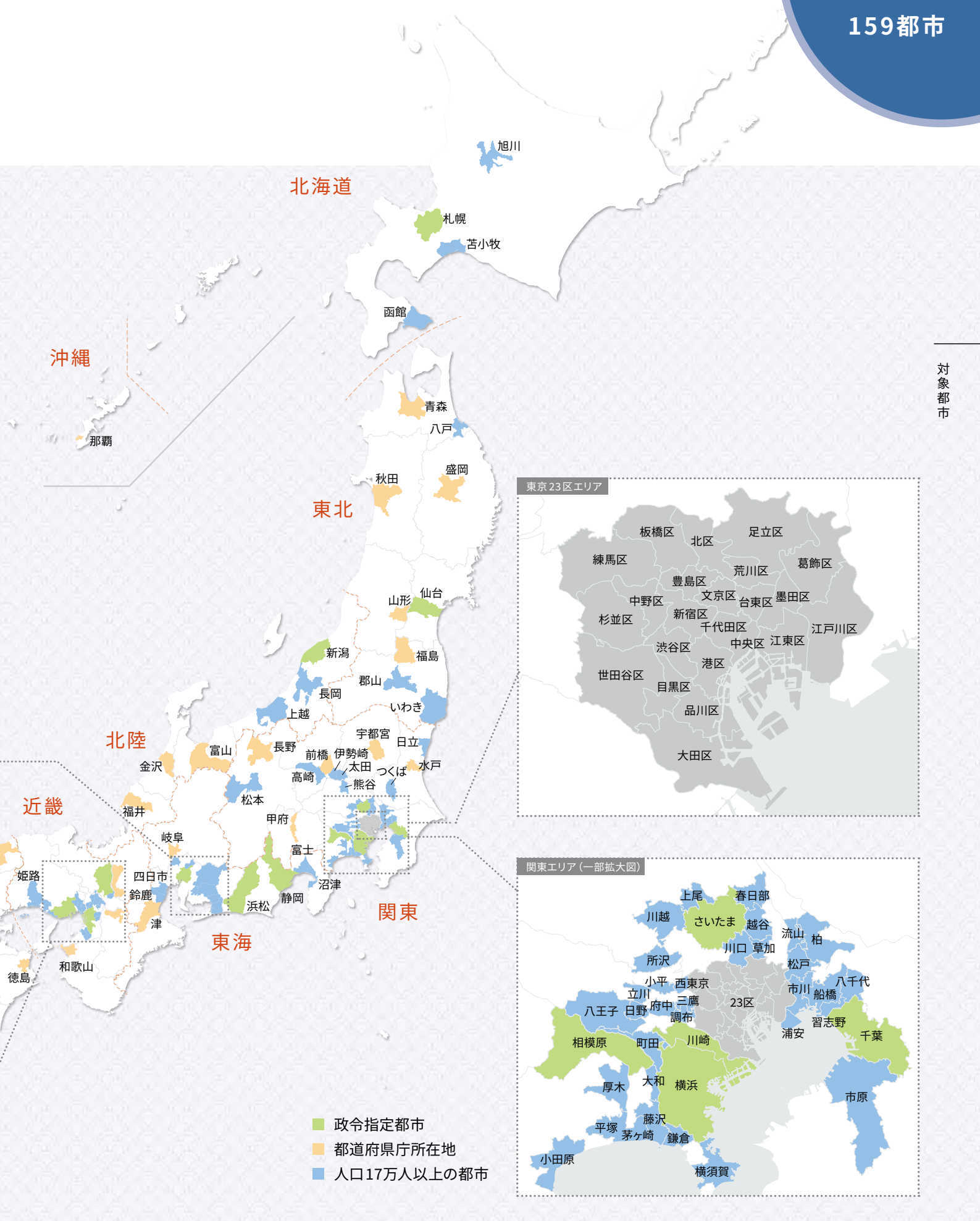
本調査は、国内の136都市と東京23区を対象としている。
136都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地(政令指定都市を除く)
3. 人口17万人以上の都市

	政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
136 都市	北海道 札幌		函館・旭川・苫小牧
	東北 仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島	八戸・郡山・いわき
	関東※ さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野	日立・つくば・高崎・伊勢崎・太田・川越・熊谷・川口・所沢・春日部・上尾・草加・越谷・市川・船橋・松戸・習志野・柏・市原・流山・八千代・浦安・八王子・立川・三鷹・府中・調布・町田・小平・日野・西東京・横須賀・平塚・鎌倉・藤沢・小田原・茅ヶ崎・厚木・大和・松本
	東海 静岡・浜松・名古屋	岐阜・津	沼津・富士・豊橋・岡崎・一宮・春日井・豊川・豊田・安城・四日市・鈴鹿
	北陸 新潟	富山・金沢・福井	長岡・上越
	近畿 京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山	宇治・岸和田・豊中・吹田・高槻・枚方・茨木・八尾・寝屋川・和泉・東大阪・姫路・尼崎・明石・西宮・伊丹・加古川・宝塚
	中国 岡山・広島	鳥取・松江・山口	出雲・倉敷・呉・福山・東広島・下関
	四国	徳島・高松・松山・高知	
	九州 北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島	久留米・佐世保
	沖縄	那覇	
東京 23区	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		

※関東エリアに長野県、山梨県を含む





評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,800点満点(経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境500点、交通・アクセス300点)で作成した。

分野	指標グループ	指標
経済・ビジネス	6 指標グループ	1 付加価値額
		2 地域内総支出
		3 昼夜間人口比率
		4 従業者数
		5 賃金水準
		6 高等教育修了者割合
	雇用・人材	7 若手人材の転入出
		8 女性就業者割合
	人材の多様性	9 外国人就業者割合
		10 高齢者就業率
	ビジネスの活力	11 新規設立法人登記割合
		12 労働生産性
	ビジネス環境	13 完全失業率
		14 新規不動産業用建築物供給面積
	ビジネス環境	15 特区制度認定数
		16 対事業所サービス従業者割合
	財政	17 フレキシブルワークスタイル実施率 ④
		18 財政力指数
		19 経常収支比率の低さ
		20 実質公債費比率の低さ
		21 将来負担比率の低さ
研究・開発	2 指標グループ	22 学術・開発研究機関従業者割合
		23 トップ大学数
	研究開発成果	24 論文投稿数
		25 グローバルニッチトップ企業数
		26 特許取得数
文化・交流	5 指標グループ	27 観光地の数・評価
		28 文化財指定件数
		29 景観まちづくりへの積極度
		30 イベントの数
		31 クリエイティブ産業従業者割合
		32 文化・歴史・伝統への接触機会 ④
		33 宿泊施設客室数
		34 高級宿泊施設客室数
	受入環境	35 イベントホール座席数
		36 観光案内所・病院の多言語対応
	交流実績	37 休日の人々の多さ
		38 行楽・観光目的の訪問の多さ
	発信実績	39 国際会議・展示会開催件数
		40 観光客誘致活動
		41 自治体 SNS フォロワー数
		42 魅力度・認知度・観光意欲度 ④

分野	指標グループ	指標
生活・居住	7 指標グループ	43 刑法犯認知件数の少なさ
		44 交通事故死亡者数の少なさ
		45 災害時の安全性
		46 空家率の低さ
		47 医師の多さ
		48 病院・診療所・病床の多さ
		49 平均寿命・健康寿命
		50 合計特殊出生率
		51 育児・教育関連給付金の多さ
		52 子どもの医療費支援
		53 教育機会の多様性
		54 外国人住民の受入体制
		55 要支援・要介護高齢者の少なさ
		56 日常生活自立支援事業利用者数の多さ
		57 電子自治体推進度
		58 居住環境の満足度 ◎
		59 新規住宅供給の多さ
		60 住宅の広さ
		61 小売事業所密度
		62 飲食店舗密度
		63 コンビニ密度
		64 可処分所得
環境	5 指標グループ	65 物価水準の低さ
		66 住宅コストの低さ
		67 昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
		68 再生可能エネルギー自給率
		69 一人一日あたりゴミの排出量の少なさ
		70 リサイクル率
		71 自然環境の満足度 ◎
		72 都市地域緑地率
		73 水辺の充実度
		74 年間日照時間
		75 夏の涼しさ
		76 冬の暖かさ
交通・アクセス	3 指標グループ	77 空気のきれいさ
		78 街路の清潔さ ◎
		79 快適性の満足度 ◎
		80 公共交通の利便性 ◎
		81 鉄道駅・バス停密度
		82 交通渋滞の少なさ
		83 空港アクセス時間の短さ
		84 新幹線の利用のしやすさ
		85 インターチェンジ数
		86 通勤時間の短さ
		87 自転車の利用のしやすさ ◎

◎ : アンケートに基づく指標

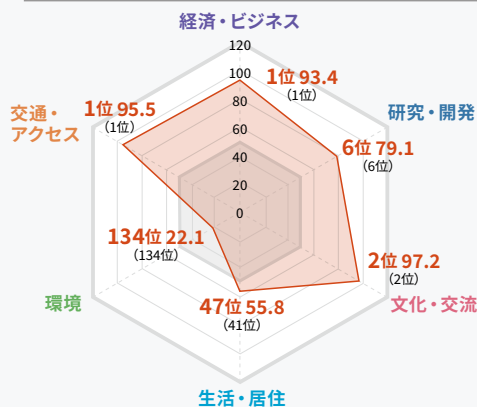
1 大阪市

OSAKA

文化・交流と経済力を両立する西日本の中核都市

合計スコアで1位を堅持した大阪府は、**経済・ビジネス**と**文化・交流**の両分野で高い評価を維持している。経済面では労働生産性で2位、新規設立法人登記割合で3位を獲得し、ビジネス創出力の高さを示した。**文化・交流**では観光地の数・評価で2位、文化財指定件数で3位となり、豊富な観光資源を有している。さらに今年は観光客誘致活動が昨年の37位から20位に大きく改善し、積極的な観光振興策の効果がうかがえる。**生活・居住**では育児・教育関連給付金の多さが1位であり、子育て世代への支援の評価も高い。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

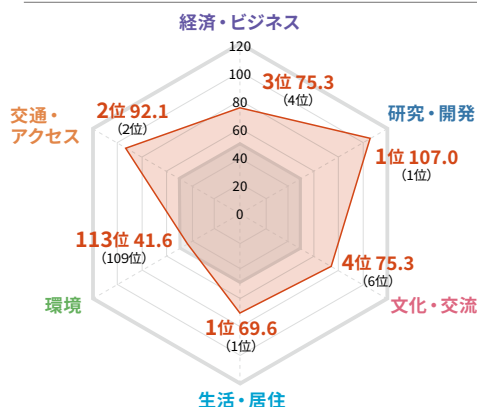
2 名古屋市

NAGOYA

学術と交通、居住で高水準を維持する東海の中核都市

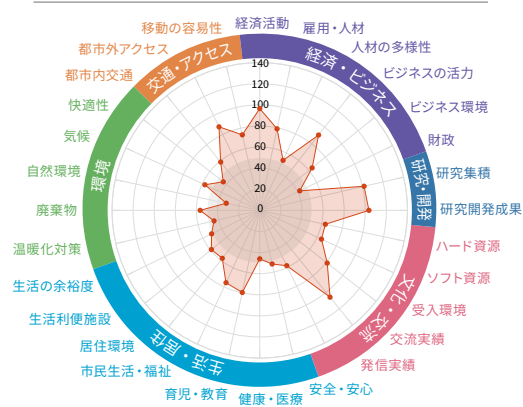
名古屋市は昨年に続き**研究・開発**と**交通・アクセス**で高い評価を獲得した。**研究・開発**を構成する5指標のうち4指標が1位または2位である。また、**交通・アクセス**では、インターチェンジ数だけでなく、自転車の利用のしやすさでも2位であり、自転車にやさしい都市としての側面も兼ね備えていることがわかる。さらに今年は**生活・居住**でもスコアを伸ばした。「育児・教育」の育児・教育関連給付金の多さで16位から3位に向上したことや、「安全・安心」の空き家率の低さで順位を上げたことが要因である。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

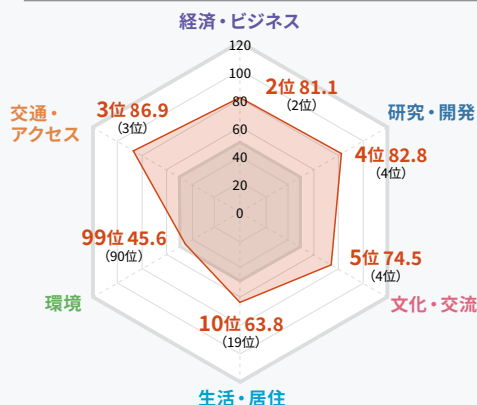
3 福岡市

FUKUOKA

ビジネス活力と国際交流力を高めアジアの拠点へと躍進する都市

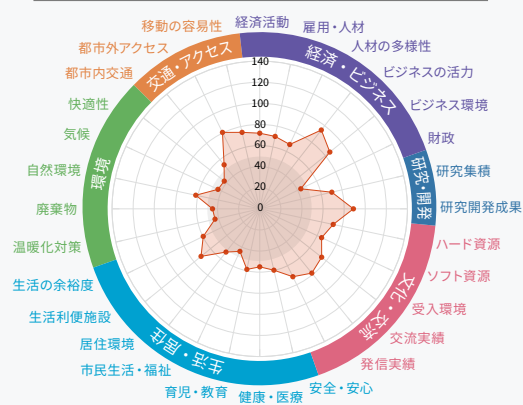
福岡市は今年、合計スコアを5位から3位へと躍進させた。強みである**経済・ビジネス**では2位を維持し、特に「ビジネスの活力」の新規不動産業用建築物供給面積でスコアが上昇。**文化・交流**では観光客誘致活動のスコアアップが目立ったほか、**生活・居住**は「育児・教育」の子どもの医療費支援のスコア増などを背景に、順位が19位から10位へと改善した。**研究・開発**と**交通・アクセス**でも昨年に続き高水準を維持しており、バランスのとれた都市力アジアの拠点都市としての地位を固めつつある。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

合計スコアの上位10都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。 ※偏差値は対象の136都市内で算出。また、グラフの形は偏差値を表す。

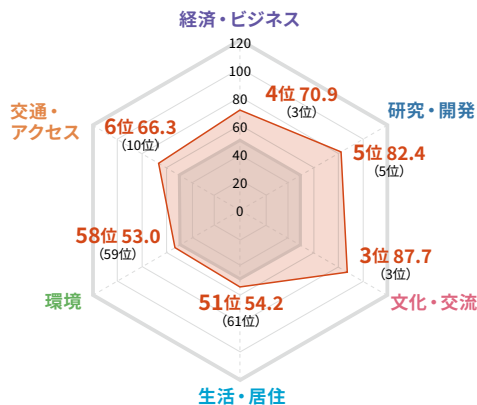
横浜市

YOKOHAMA

観光資源と経済力を兼ね備えた持続可能な海洋都市

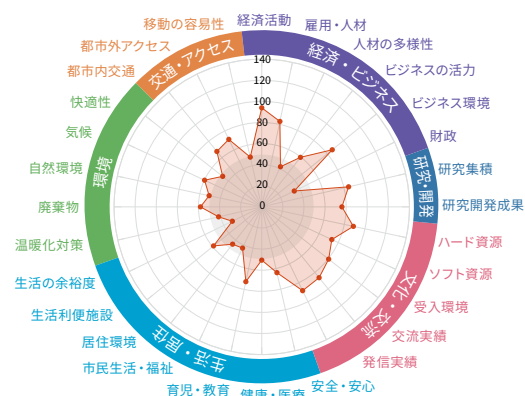
横浜市は最大の強みである**文化・交流**で3位と高評価を得ており、景観まちづくりへの積極度や自治体SNSフォロワー数などの指標で首位を維持した。また**経済・ビジネス**はスコアを下げるも安定した強さをみせた。**生活・居住**では、子どもの医療費支援のスコアが改善し、教育機会の多様性も1位へ上昇した。**環境**では水辺の充実度が6位を維持し、海洋都市としての特性を生かした取り組みが継続している。一方で「生活の余裕度」の評価は高くなく、これらの指標を高める施策が今後の焦点となる。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

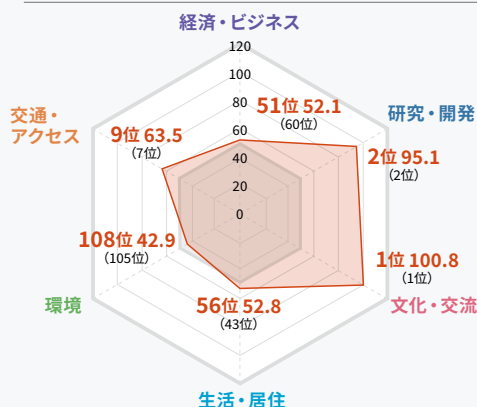
京都市

KYOTO

文化・交流の卓越性と水辺環境の改善が進む歴史都市

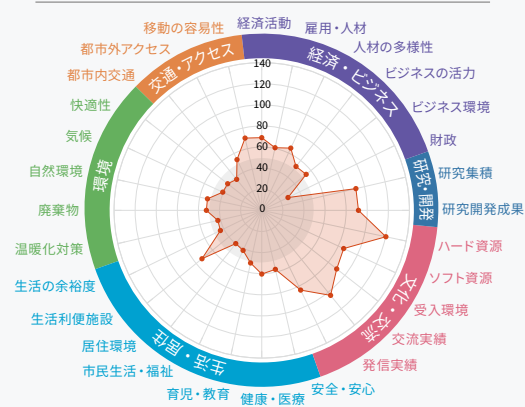
合計スコアで5位となった京都市は、その都市力の中核を形成する**文化・交流**で昨年に引き続き首位を維持した。中でも「発信実績」が強化され、観光客誘致活動が14位から11位へと上昇。弱点である**環境**の克服も進んでおり、「自然環境」における水辺の充実度が128位から61位へと大幅に改善した。**研究・開発**では2位を維持し、特に論文投稿数で首位を維持するなど学術都市としての側面も強い。京都市は文化的資源を基盤としながら、環境面の改善と研究力維持により魅力を高め続けている。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

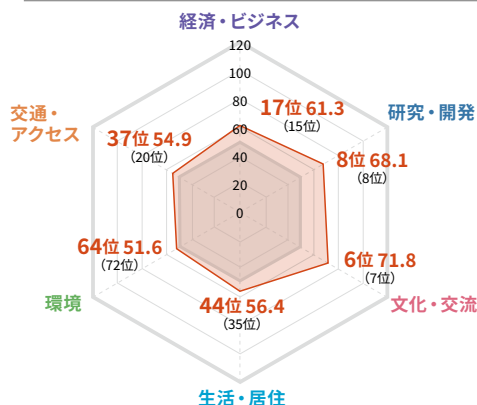
神戸市

KOBE

研究・開発と文化・交流に強みを持つ歴史港湾都市

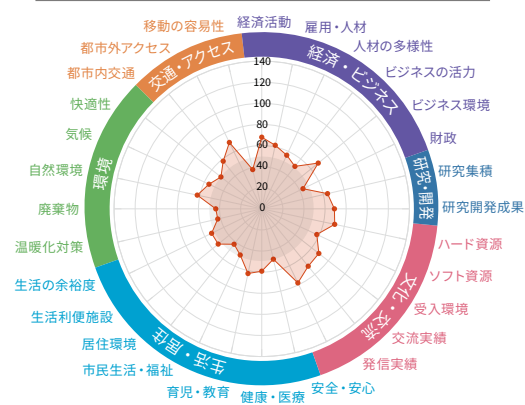
神戸市は、**研究・開発**と**文化・交流**の両面で高い評価を安定して得ている。特に今年は**文化・交流**の「交流実績」における行楽・観光目的の訪問の多さが11位から5位へと大きく向上し、国際会議・展示会開催件数も9位から8位へと上昇した。また、「ビジネス環境」においてはフレキシブルワークスタイル実施率が71位から51位へと躍進。文化的資源の豊かさなど**研究・開発**の基盤が同市の魅力を支え続けている。一方で**環境**は全体として順位を上げたものの、夏の涼しさでは課題を残している。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



2025指標グループ別偏差値 偏差値50ライン

© 一般財団法人神戸観光局

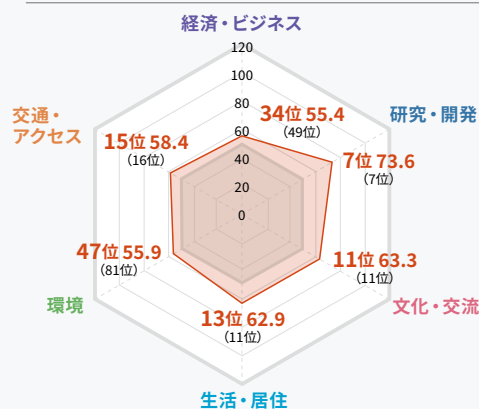
7 仙台市 SENDAI



研究力と暮らしやすさで躍進を続ける東北の学術拠点都市

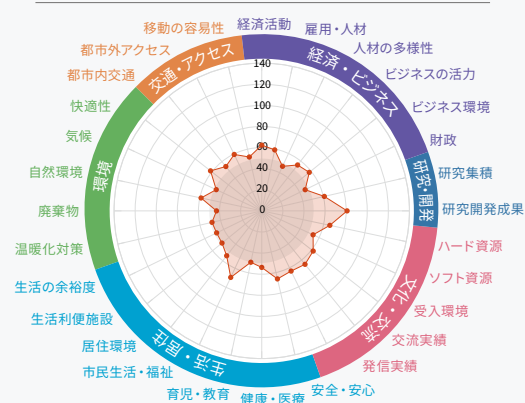
仙台市は合計スコアの順位を昨年の9位から7位に上げ、**研究・開発**と**生活・居住**を中心とした総合力の高さを示した。最大の強みである**研究・開発**では論文投稿数とグローバルニッチトップ企業数で4位を維持し、学術都市としての地位を確固たるものになっている。**生活・居住**では13位へわずかに後退したものの、「市民生活・福祉」で外国人住民の受入体制が2位を獲得するなど多様性への取り組みが評価された。**文化・交流**も11位を維持しており、景観まちづくりへの積極度で3位の高評価を得ている。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



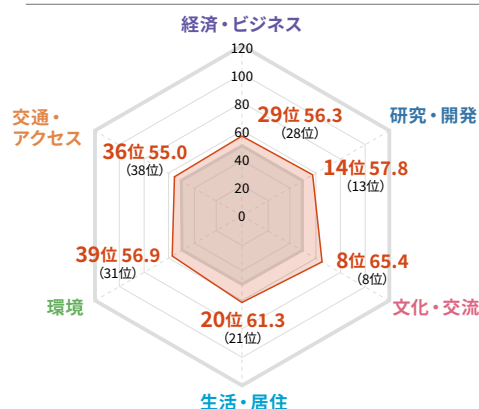
8 金沢市 KANAZAWA



文化的魅力を維持し住環境向上を図る加賀百万石の都

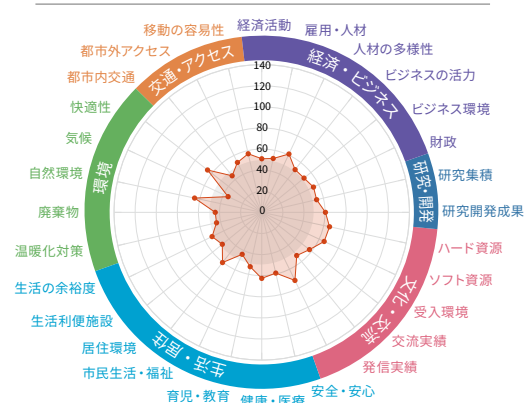
金沢市は合計スコアで順位を一つ下げたが、最大の強みである**文化・交流**で8位を維持した。「交流実績」の休日の人の多さが22位に上昇するなど、日本有数の観光地としての人気がうかがえる。**生活・居住**では順位を一つ上げ、特に居住環境の満足度などで改善がみられた。一方で**環境**分野は「廃棄物」などのスコアダウンが影響し順位を下げたほか、**経済・ビジネス**の「ビジネスの活力」「ビジネス環境」なども評価が低下。伝統文化と住みやすさを両立させた、持続可能な発展への取り組みが今後の課題となる。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



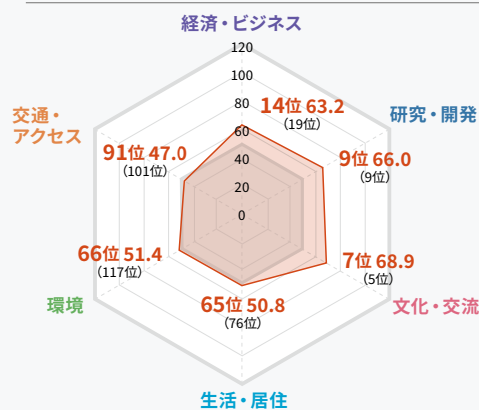
9 札幌市 SAPPORO



環境と生活の質で大幅改善を遂げた北の中心都市

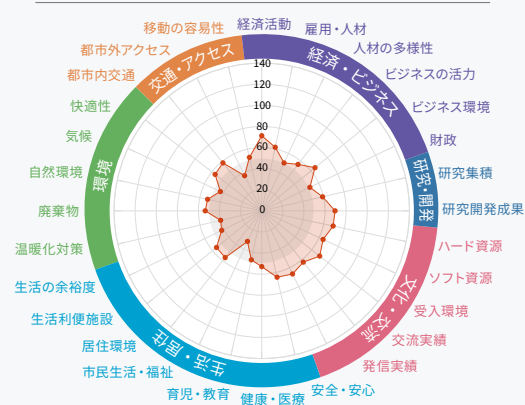
合計順位を13位から9位に上げた札幌市は、**環境**で大幅な順位向上を果たした。特に夏の涼しさで3位を獲得し、北海道の気候の優位性を活かした評価となった。**生活・居住**でも76位から65位に改善し、特に災害時の安全性で16位から10位に躍進するなど、安全・安心な都市としての魅力を高めた。**経済・ビジネス**でも14位に上昇し、新規不動産業用建築物供給面積で10位から4位に大きく順位を伸ばした。一方で、強みであった**文化・交流**は7位に順位を落としたものの、依然として高水準を維持している。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



10 つくば市

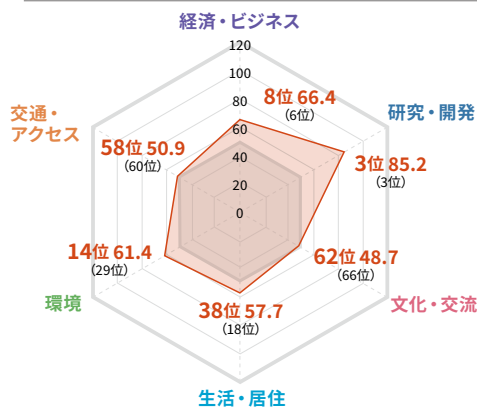
TSUKUBA



研究・開発で首位を維持しつつ経済・ビジネスで躍進する学園都市

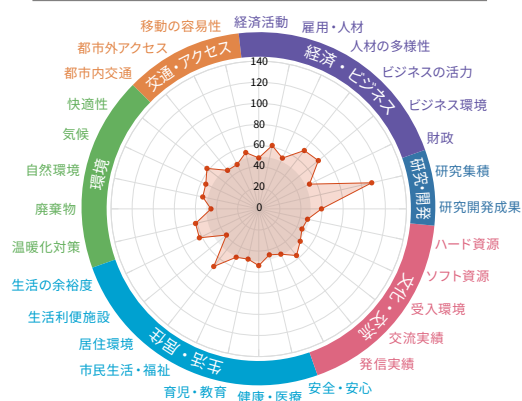
研究・開発で3位を維持したつくば市は、今年も「研究集積」の学術・開発研究機関従業者割合で1位を獲得した。経済・ビジネスはスコアを下げたものの、「ビジネス環境」のフレキシブルワークスタイル実施率は4位に向上した。交通・アクセスでは、「移動の容易性」の自転車の利用のしやすさでスコアを向上させている。環境は「快適性」の指標で高評価を維持しつつ、空気のきれいさで3位を獲得した。一方生活・居住においては、「生活利便施設」の小売事業所密度や飲食店舗密度は依然として課題が残る。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



11 広島市

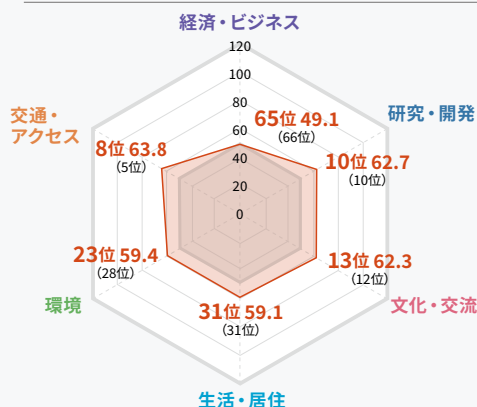
HIROSHIMA



自然と文化が息づくグローバル都市

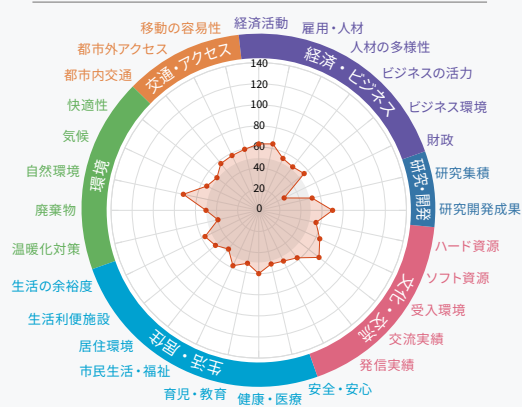
広島市は環境において、28位から23位へと順位を上げた。かねてより強みであった「自然環境」に加えて、「気候」や「快適性」においても評価を高めた。経済・ビジネスでも地域内総支出のスコアを伸ばすなど、着実な成長を続けている。一方交通・アクセスでは、公共交通の利便性等で僅かに評価を落とした結果、8位へ分野順位を下げた。文化・交流では観光客誘致活動のスコア低下が課題だが、依然として観光地の数・評価や国際会議開催件数などの評価は高く、平和都市としての文化的魅力は健在である。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値



12 松本市

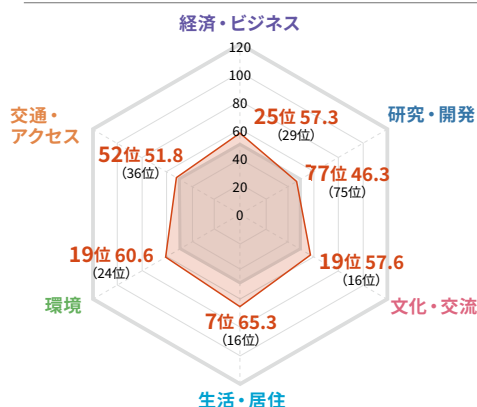
MATSUMOTO



健康長寿と豊かな自然環境を誇る北アルプスの文化観光都市

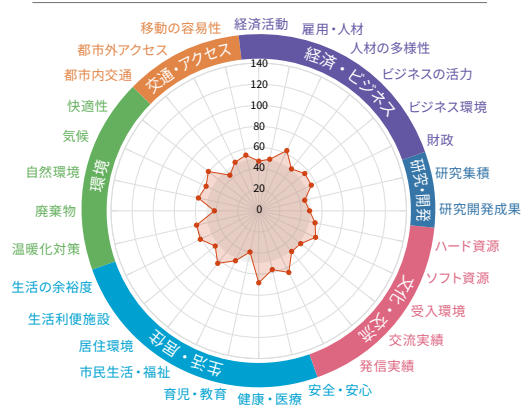
松本市は、医師の多さと平均寿命・健康寿命の高さが特徴的であり、生活・居住の順位が7位へと上昇した。文化・交流では、観光客誘致活動や文化・歴史・伝統への接触機会などが強みとなっている。環境面では都市地域緑地率や自然環境の満足度、経済・ビジネスにおいては、将来負担比率の低さや高齢者就業率の高さも特筆される。その一方で、研究・開発や交通・アクセスには課題が残る。健康長寿と文化的蓄積を活かしながら、観光資源としての自然環境の魅力をさらに高めることが期待される。

分野別の順位・偏差値



2025分野別偏差値 偏差値50ライン () 2024の順位

指標グループ別の偏差値

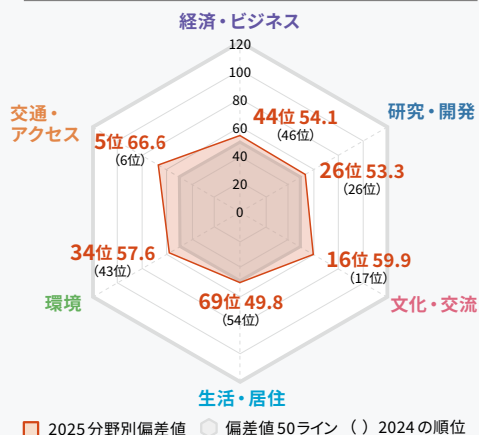


13 静岡市

SHIZUOKA

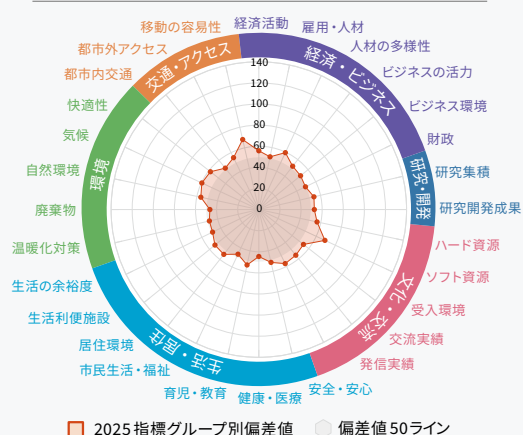


分野別の順位・偏差値



2025 分野別偏差値 偏差値 50ライン () 2024 の順位

指標グループ別の偏差値

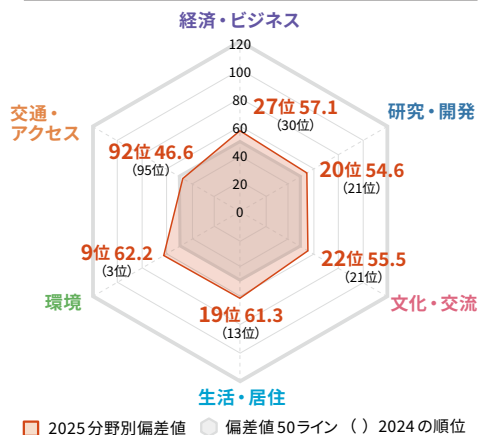


14 浜松市

HAMAMATSU

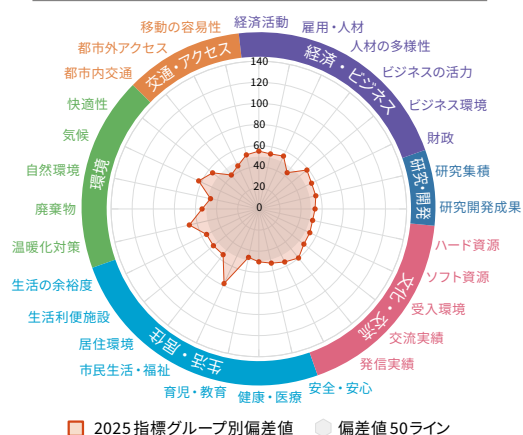


分野別の順位・偏差値



2025 分野別偏差値 偏差値 50ライン () 2024 の順位

指標グループ別の偏差値

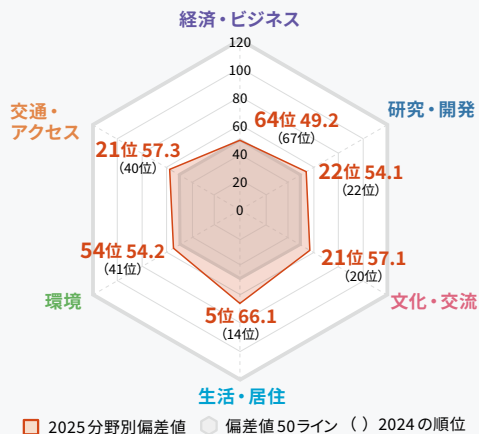


15 熊本市

KUMAMOTO

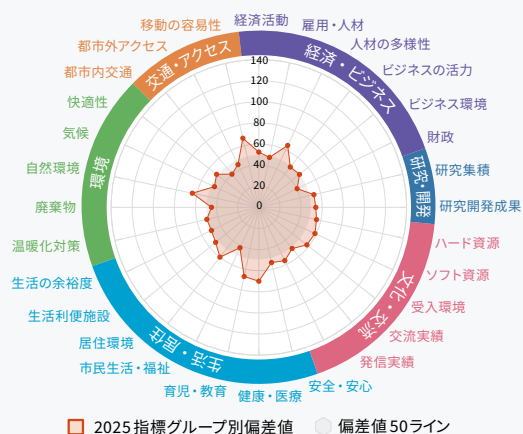


分野別の順位・偏差値



2025 分野別偏差値 偏差値 50ライン () 2024 の順位

指標グループ別の偏差値

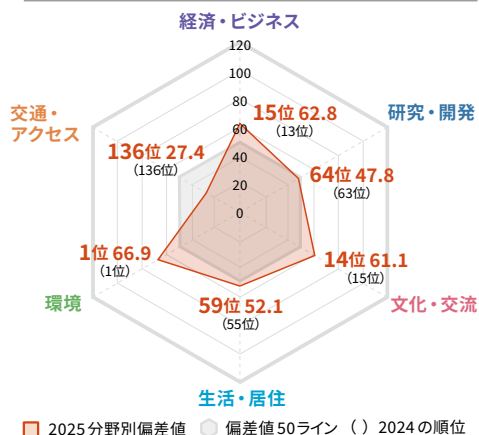


16 鎌倉市

KAMAKURA

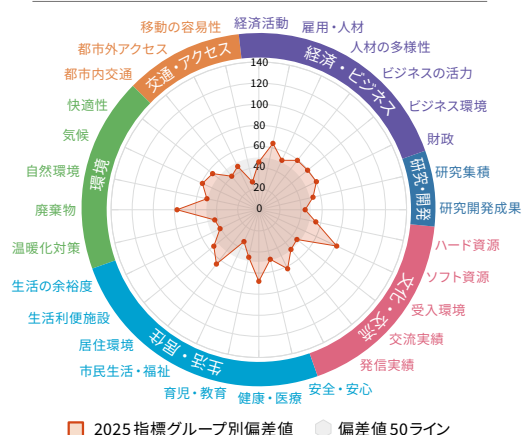


分野別の順位・偏差値



2025 分野別偏差値 偏差値 50ライン () 2024 の順位

指標グループ別の偏差値

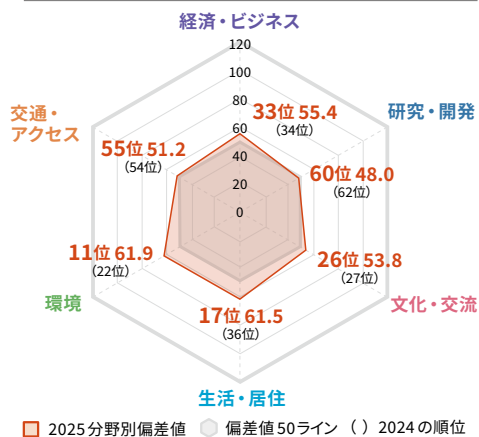


17 長野市

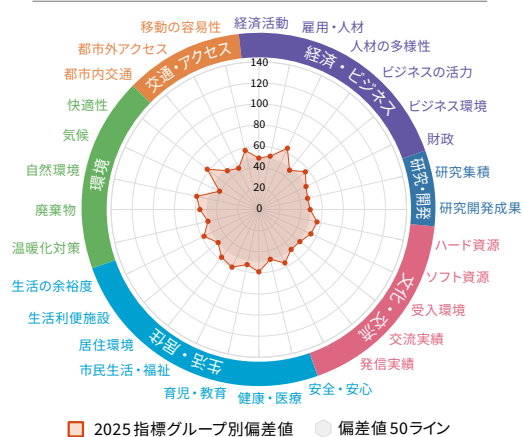
NAGANO



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

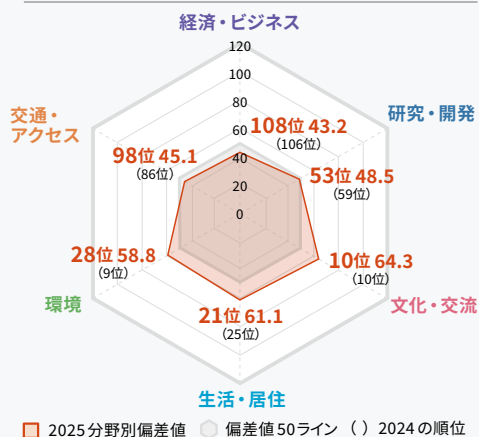


18 奈良市

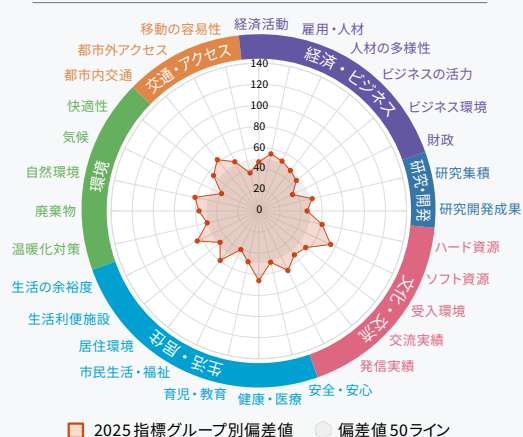
NARA



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

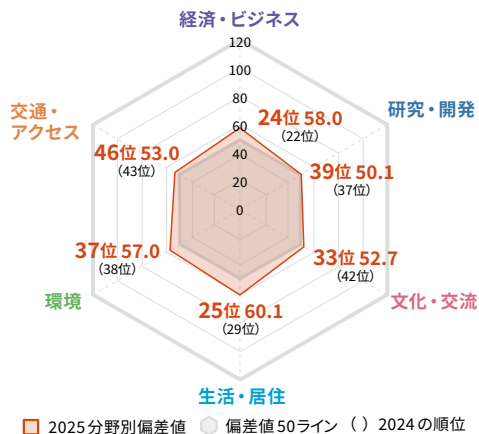


19 岐阜市

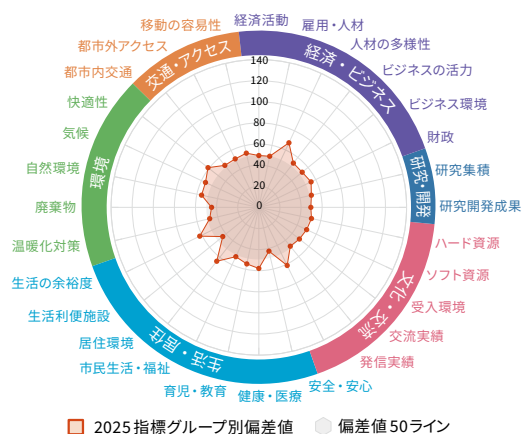
GIFU



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



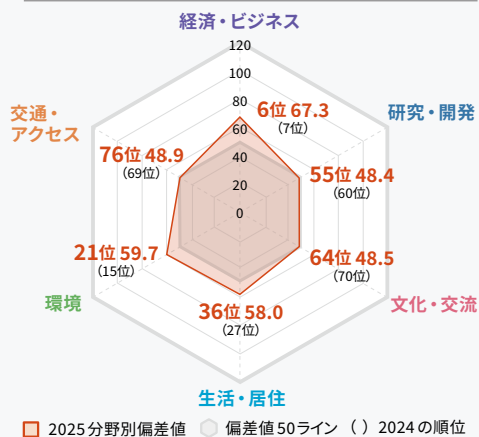
20 豊田市

TOYOTA

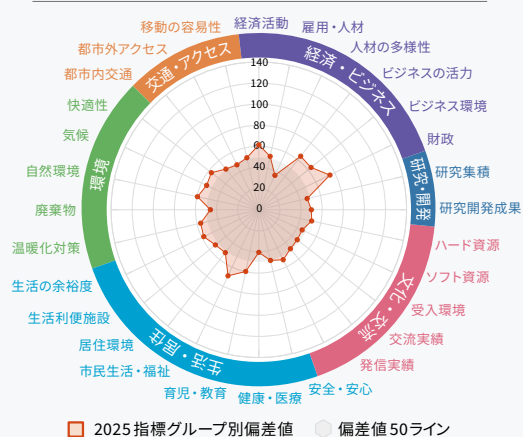


豊田スタジアム © 豊田市

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	285.8	41	習志野市	167.1
2	福岡市	248.3	42	船橋市	166.4
3	名古屋市	230.4	43	川口市	166.2
4	横浜市	216.9	44	静岡市	165.4
5	安城市	208.6	45	町田市	164.7
6	豊田市	205.9	46	大津市	163.3
7	浦安市	204.6	47	小田原市	161.4
8	つくば市	203.2	48	藤沢市	161.2
9	小平市	200.2	49	豊橋市	160.5
10	調布市	198.5	50	豊川市	159.9
11	三鷹市	197.9	51	京都市	159.2
12	立川市	194.6	52	相模原市	158.9
13	川崎市	193.6	53	宝塚市	158.8
14	札幌市	193.2	54	八千代市	158.3
15	鎌倉市	192.0	55	佐賀市	158.2
16	府中市	188.9	56	高槻市	157.2
17	神戸市	187.5	57	久留米市	156.0
18	さいたま市	184.6	58	松戸市	154.6
19	四日市市	184.3	59	鈴鹿市	153.7
20	岡崎市	182.1	60	沼津市	152.7
21	吹田市	180.6	61	宮崎市	152.3
22	柏市	178.0	62	茅ヶ崎市	152.2
23	市川市	177.4	63	姫路市	151.5
24	岐阜市	177.4	64	熊本市	150.3
25	松本市	175.3	65	広島市	149.9
26	茨木市	175.0	66	所沢市	149.5
27	浜松市	174.5	67	鹿児島市	149.2
28	日野市	174.0	68	福井市	148.1
29	金沢市	172.1	69	春日井市	148.0
30	流山市	171.2	70	熊谷市	147.8
31	西宮市	170.5	71	甲府市	147.6
32	八王子市	169.6	72	尼崎市	147.4
33	長野市	169.5	73	高崎市	146.8
34	仙台市	169.5	74	一宮市	146.6
35	西東京市	168.3	75	高松市	146.0
36	東広島市	168.0	76	郡山市	146.0
37	豊中市	167.9	77	伊勢崎市	145.8
38	岡山市	167.7	78	那覇市	145.4
39	厚木市	167.4	79	枚方市	145.1
40	福山市	167.3	80	倉敷市	145.0

81
136
函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,太田市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市原市,横須賀市,平塚市,大和市,新潟市,長岡市,上越市,富山市,富土市,津市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	111.6	41	長岡市	12.2
2	京都市	91.0	42	東広島市	12.1
3	つくば市	73.9	43	茨木市	12.0
4	福岡市	69.7	44	盛岡市	11.7
5	横浜市	69.0	45	富山市	11.3
6	大阪市	63.2	46	宮崎市	11.3
7	仙台市	53.7	47	藤沢市	11.3
8	神戸市	44.1	48	高槻市	11.1
9	札幌市	40.5	49	川越市	10.6
10	広島市	34.8	50	津市	10.5
11	八王子市	31.1	51	佐賀市	10.5
12	厚木市	28.0	52	相模原市	10.3
13	吹田市	27.1	53	奈良市	10.1
14	金沢市	26.3	54	松山市	10.1
15	岡山市	25.0	55	豊田市	10.0
16	新潟市	25.0	56	府中市	9.7
17	北九州市	22.0	57	和歌山市	9.6
18	千葉市	22.0	58	豊橋市	9.5
19	さいたま市	21.7	59	久留米市	9.4
20	浜松市	20.8	60	長野市	9.3
21	川崎市	20.8	61	岡崎市	9.2
22	熊本市	19.9	62	前橋市	9.0
23	宇都宮市	19.7	63	福井市	9.0
24	宇治市	19.2	64	鎌倉市	8.9
25	調布市	18.5	65	浦安市	8.8
26	静岡市	18.4	66	日立市	8.7
27	柏市	16.6	67	平塚市	8.0
28	函館市	16.4	68	市川市	7.6
29	大津市	16.4	69	松戸市	7.6
30	長崎市	16.2	70	松江市	7.5
31	秋田市	16.0	71	倉敷市	7.3
32	高松市	15.0	72	高知市	7.0
33	豊中市	14.7	73	横須賀市	6.9
34	枚方市	14.6	74	町田市	6.7
35	三鷹市	13.7	75	山形市	6.4
36	鹿児島市	13.5	76	日野市	6.4
37	西宮市	13.4	77	松本市	6.4
38	徳島市	13.2	78	尼崎市	6.3
39	岐阜市	12.9	79	甲府市	6.3
40	福島市	12.7	80	習志野市	6.1

81
136
旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,市原市,流山市,八千代市,立川市,小平市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,沼津市,富士市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,鳥取市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	324.2	41	出雲市	81.5
2	大阪市	306.1	42	沼津市	81.3
3	横浜市	258.8	43	浦安市	80.1
4	名古屋市	197.3	44	宮崎市	76.6
5	福岡市	193.6	45	大分市	75.7
6	神戸市	179.9	46	鳥取市	75.5
7	札幌市	165.5	47	徳島市	73.8
8	金沢市	148.1	48	高知市	73.6
9	長崎市	143.5	49	長岡市	73.5
10	奈良市	142.6	50	川崎市	72.4
11	仙台市	137.6	51	甲府市	72.2
12	北九州市	134.2	52	いわき市	71.9
13	広島市	132.8	53	堺市	70.1
14	鎌倉市	126.6	54	宇治市	69.7
15	那覇市	121.8	55	秋田市	69.0
16	静岡市	120.7	56	山口市	68.5
17	姫路市	116.4	57	佐世保市	68.2
18	函館市	111.9	58	山形市	67.3
19	松本市	109.4	59	府中市	66.7
20	鹿児島市	107.9	60	藤沢市	66.2
21	熊本市	106.7	61	岡崎市	65.5
22	浜松市	99.1	62	つくば市	65.3
23	倉敷市	97.6	63	青森市	64.6
24	松山市	97.5	64	豊田市	64.4
25	盛岡市	97.1	65	福島市	64.3
26	長野市	90.5	66	高崎市	63.5
27	和歌山市	88.8	67	旭川市	63.2
28	下関市	88.6	68	宇都宮市	63.1
29	高松市	87.6	69	横須賀市	62.7
30	大津市	87.5	70	佐賀市	61.7
31	岡山市	86.1	71	郡山市	61.6
32	富山市	85.6	72	西宮市	61.4
33	岐阜市	85.2	73	前橋市	61.1
34	川越市	85.2	74	福井市	60.9
35	さいたま市	85.0	75	宝塚市	60.5
36	小田原市	84.8	76	津市	60.4
37	千葉市	83.9	77	八王子市	59.6
38	水戸市	82.0	78	久留米市	59.0
39	新潟市	82.0	79	明石市	53.8
40	松江市	81.8	80	福山市	53.3

苦小牧市,八戸市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,流山市,八千代市,立川市,三鷹市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,富士市,豊橋市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,豊中市,吹田市,高槻市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,呉市,東広島市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	341.3	41	一宮市	308.7
2	大分市	337.9	42	宝塚市	308.3
3	山形市	336.3	43	佐賀市	308.0
4	豊橋市	332.9	44	神戸市	306.7
5	熊本市	332.0	45	松江市	305.8
6	福井市	331.6	46	西宮市	305.6
7	松本市	330.0	47	大阪市	305.2
8	豊中市	327.8	48	柏市	303.5
9	安城市	326.9	49	枚方市	303.3
10	福岡市	326.0	50	高松市	301.6
11	吹田市	324.6	51	横浜市	301.0
12	前橋市	324.2	52	津市	301.0
13	仙台市	323.6	53	さいたま市	299.6
14	出雲市	323.0	54	三鷹市	297.8
15	宇都宮市	322.0	55	甲府市	297.4
16	鹿児島市	320.7	56	京都市	297.4
17	長野市	320.2	57	高崎市	296.7
18	宮崎市	319.9	58	盛岡市	296.6
19	浜松市	319.5	59	鎌倉市	295.6
20	金沢市	319.5	60	倉敷市	294.6
21	奈良市	319.1	61	北九州市	293.7
22	高槻市	318.7	62	秋田市	293.4
23	岡崎市	317.5	63	松山市	293.3
24	長崎市	317.2	64	所沢市	293.2
25	岐阜市	316.3	65	札幌市	292.1
26	徳島市	315.9	66	藤沢市	291.5
27	大津市	314.9	67	八千代市	290.3
28	久留米市	314.3	68	和歌山市	289.9
29	富山市	314.3	69	静岡市	289.5
30	明石市	314.2	70	山口市	288.9
31	広島市	313.8	71	長岡市	287.5
32	豊川市	313.7	72	川越市	287.1
33	茨木市	312.7	73	浦安市	286.9
34	新潟市	311.7	74	郡山市	285.9
35	流山市	311.4	75	水戸市	285.5
36	豊田市	310.9	76	大和市	285.0
37	岡山市	310.5	77	堺市	284.6
38	つくば市	310.2	78	福島市	283.8
39	鳥取市	309.6	79	千葉市	283.7
40	春日井市	309.6	80	佐世保市	283.6

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,市原市,八王子市,立川市,府中市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,厚木市,上越市,沼津市,富士市,四日市市,鈴鹿市,宇治市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,呉市,福山市,東広島市,下関市,高知市,那覇市

(市区町村コード順)

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	鎌倉市	310.6	41	佐賀市	282.9
2	日野市	309.6	42	茅ヶ崎市	282.5
3	府中市	302.9	43	藤沢市	282.0
4	高崎市	302.1	44	所沢市	281.8
5	豊橋市	301.8	45	富山市	281.6
6	調布市	300.1	46	平塚市	280.7
7	盛岡市	300.0	47	仙台市	280.6
8	松江市	298.8	48	新潟市	280.1
9	浜松市	297.6	49	小田原市	279.7
10	前橋市	297.0	50	水戸市	279.3
11	長野市	296.9	51	いわき市	279.2
12	大津市	296.7	52	高松市	277.3
13	津市	296.1	53	西東京市	275.9
14	つくば市	295.6	54	熊本市	275.9
15	宮崎市	295.0	55	岡崎市	274.9
16	三鷹市	294.5	56	沼津市	274.4
17	豊川市	294.3	57	安城市	273.5
18	八王子市	293.8	58	横浜市	272.5
19	松本市	293.3	59	枚方市	272.3
20	松山市	292.3	60	徳島市	270.9
21	豊田市	291.0	61	和泉市	270.4
22	立川市	290.7	62	町田市	269.0
23	広島市	290.1	63	春日井市	268.9
24	小平市	289.8	64	神戸市	268.7
25	横須賀市	289.7	65	宇都宮市	268.6
26	出雲市	289.2	66	札幌市	268.3
27	鳥取市	288.9	67	富士市	268.2
28	奈良市	288.5	68	高知市	267.6
29	西宮市	287.2	69	呉市	267.2
30	流山市	287.1	70	千葉市	267.0
31	山口市	287.0	71	姫路市	265.4
32	宝塚市	286.7	72	山形市	265.0
33	秋田市	286.1	73	佐世保市	264.9
34	静岡市	285.2	74	和歌山市	263.3
35	東広島市	284.4	75	吹田市	263.3
36	日立市	283.7	76	浦安市	263.0
37	岐阜市	283.6	77	久留米市	263.0
38	高槻市	283.5	78	加古川市	262.8
39	金沢市	283.2	79	八千代市	262.5
40	宇治市	283.0	80	太田市	261.6

81
~
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,郡山市,伊勢崎市,さいたま市,川越市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,川崎市,相模原市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,福井市,甲府市,名古屋市,一宮市,四日市市,鈴鹿市,京都市,大阪市,堺市,岸和田市,豊中市,茨木市,八尾市,寝屋川市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,岡山市,倉敷市,福山市,下関市,北九州市,福岡市,長崎市,大分市,鹿児島市,那覇市

(市区町村コード順)



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	207.0	41	福島市	126.3
2	名古屋市	200.4	42	立川市	126.2
3	福岡市	190.3	43	三鷹市	126.1
4	尼崎市	154.3	44	高松市	125.8
5	静岡市	150.8	45	鳥取市	125.0
6	横浜市	150.3	46	岐阜市	124.5
7	伊丹市	148.9	47	市原市	123.7
8	広島市	145.4	48	松江市	123.2
9	京都市	144.8	49	富山市	123.0
10	浦安市	141.8	50	高知市	122.4
11	東大阪市	140.5	51	苫小牧市	122.3
12	東広島市	136.7	52	松本市	122.2
13	盛岡市	135.9	53	市川市	121.7
14	千葉市	135.3	54	和歌山市	121.4
15	仙台市	134.9	55	長野市	121.0
16	豊中市	134.8	56	寝屋川市	121.0
17	八尾市	133.7	57	川口市	120.6
18	山口市	133.4	58	つくば市	120.4
19	高槻市	133.3	59	宮崎市	120.1
20	新潟市	133.1	60	郡山市	119.5
21	熊本市	132.8	61	鈴鹿市	119.4
22	秋田市	132.6	62	和泉市	119.3
23	吹田市	132.5	63	四日市市	119.1
24	青森市	132.4	64	長岡市	118.9
25	堺市	131.7	65	八戸市	118.8
26	岸和田市	131.1	66	呉市	118.8
27	府中市	131.0	67	姫路市	118.7
28	函館市	130.9	68	調布市	118.3
29	北九州市	130.8	69	福井市	118.0
30	鹿児島市	130.6	70	那覇市	118.0
31	久留米市	130.4	71	旭川市	117.6
32	平塚市	130.4	72	福山市	117.6
33	川崎市	129.0	73	倉敷市	117.1
34	岡山市	128.7	74	一宮市	117.0
35	佐賀市	128.5	75	厚木市	116.9
36	金沢市	128.4	76	豊田市	116.4
37	神戸市	128.2	77	安城市	116.0
38	松山市	127.8	78	豊橋市	115.7
39	茨木市	127.3	79	山形市	115.1
40	西宮市	126.8	80	沼津市	115.1

81
~
136

札幌市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,さいたま市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,流山市,八千代市,八王子市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,横須賀市,鎌倉市,藤沢市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,甲府市,浜松市,富士市,岡崎市,春日井市,豊川市,津市,大津市,宇治市,枚方市,明石市,加古川市,宝塚市,奈良市,出雲市,下関市,徳島市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,355.8	41	高槻市	950.2
2	名古屋市	1,322.5	42	佐賀市	949.8
3	福岡市	1,280.5	43	長崎市	948.4
4	横浜市	1,268.6	44	北九州市	945.9
5	京都市	1,261.9	45	鳥取市	939.7
6	神戸市	1,115.2	46	豊中市	939.1
7	仙台市	1,099.9	47	立川市	938.6
8	金沢市	1,077.5	48	八王子市	935.8
9	札幌市	1,072.3	49	大分市	934.8
10	つくば市	1,068.6	50	千葉市	934.2
11	広島市	1,066.8	51	久留米市	932.0
12	松本市	1,036.6	52	出雲市	931.1
13	静岡市	1,029.9	53	東広島市	927.2
14	浜松市	1,023.5	54	津市	926.2
15	熊本市	1,017.6	55	豊川市	925.7
16	鎌倉市	1,008.3	56	姫路市	923.4
17	長野市	1,007.4	57	福井市	923.0
18	奈良市	1,001.4	58	宇都宮市	922.6
19	岐阜市	1,000.0	59	茨木市	919.9
20	豊田市	998.6	60	藤沢市	919.4
21	浦安市	985.4	61	宝塚市	919.1
22	大津市	983.8	62	前橋市	918.8
23	鹿児島市	981.2	63	山形市	918.8
24	岡山市	978.3	64	川崎市	917.3
25	府中市	977.7	65	徳島市	912.3
26	三鷹市	977.4	66	山口市	912.3
27	宮崎市	975.1	67	小田原市	911.7
28	吹田市	970.0	68	高崎市	909.0
29	豊橋市	967.9	69	秋田市	908.8
30	盛岡市	965.3	70	倉敷市	897.8
31	西宮市	964.9	71	宇治市	896.1
32	さいたま市	964.3	72	水戸市	893.5
33	松山市	962.9	73	日野市	893.0
34	岡崎市	962.2	74	沼津市	891.6
35	富山市	958.6	75	小平市	889.6
36	新潟市	957.4	76	流山市	889.3
37	高松市	953.4	77	枚方市	886.4
38	安城市	952.0	78	和歌山市	885.1
39	調布市	950.9	79	甲府市	883.2
40	松江市	950.5	80	厚木市	881.6

81
～
136

函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,福島市,郡山市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,習志野市,柏市,市原市,八千代市,町田市,西東京市,相模原市,横須賀市,平塚市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,富士市,一宮市,春日井市,四日市市,鈴鹿市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,呉市,福山市,下関市,高知市,佐世保市,那覇市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル

指標数25/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	54.5	41	松山市	45.4
2	豊中市	53.2	42	久留米市	45.3
3	福岡市	52.6	43	一宮市	45.3
4	吹田市	50.9	44	高松市	45.3
5	大阪市	50.8	45	北九州市	45.2
6	浦安市	50.6	46	富山市	45.0
7	西宮市	49.8	47	福井市	45.0
8	高槻市	49.4	48	枚方市	44.9
9	仙台市	49.3	49	千葉市	44.9
10	広島市	48.6	50	津市	44.9
11	松本市	48.1	51	流山市	44.9
12	三鷹市	48.0	52	宇都宮市	44.8
13	神戸市	47.9	53	新潟市	44.8
14	茨木市	47.9	54	高知市	44.7
15	盛岡市	47.8	55	青森市	44.7
16	鹿児島市	47.6	56	松江市	44.7
17	豊橋市	47.6	57	豊田市	44.6
18	府中市	47.5	58	岡山市	44.5
19	静岡市	47.5	59	春日井市	44.5
20	岐阜市	47.2	60	出雲市	44.5
21	横浜市	47.1	61	堺市	44.5
22	伊丹市	47.0	62	東広島市	44.3
23	奈良市	47.0	63	山形市	44.3
24	浜松市	47.0	64	豊川市	44.2
25	秋田市	46.7	65	札幌市	44.0
26	明石市	46.5	66	市川市	43.9
27	宝塚市	46.5	67	さいたま市	43.9
28	金沢市	46.3	68	和歌山市	43.8
29	宮崎市	46.3	69	函館市	43.7
30	安城市	46.2	70	つくば市	43.6
31	佐賀市	46.1	71	習志野市	43.5
32	熊本市	46.0	72	日立市	43.4
33	大分市	45.9	73	甲府市	43.3
34	調布市	45.9	74	藤沢市	43.2
35	岡崎市	45.8	75	和泉市	43.2
36	京都市	45.8	76	郡山市	43.0
37	山口市	45.7	77	倉敷市	42.9
38	長崎市	45.6	78	高崎市	42.9
39	鳥取市	45.5	79	宇治市	42.8
40	長野市	45.5	80	前橋市	42.7

旭川市、苫小牧市、八戸市、福島市、いわき市、水戸市、伊勢崎市、太田市、川崎市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、船橋市、松戸市、柏市、市原市、八千代市、八王子市、立川市、町田市、小平市、日野市、西東京市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、小田原市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、沼津市、富士市、四日市市、鈴鹿市、大津市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、姫路市、尼崎市、加古川市、呉市、福山市、下関市、徳島市、佐世保市、那覇市

(市区町村コード順)



ファミリー

指標数42/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	54.0	41	高松市	47.3
2	名古屋市	52.7	42	福井市	47.3
3	仙台市	51.6	43	札幌市	47.2
4	熊本市	50.9	44	徳島市	47.1
5	大阪市	50.8	45	前橋市	47.0
6	金沢市	50.3	46	岡山市	46.9
7	広島市	50.2	47	豊田市	46.9
8	横浜市	50.0	48	京都市	46.8
9	盛岡市	50.0	49	北九州市	46.7
10	高槻市	49.9	50	豊川市	46.7
11	宮崎市	49.9	51	安城市	46.6
12	神戸市	49.8	52	津市	46.6
13	新潟市	49.8	53	宝塚市	46.6
14	岐阜市	49.7	54	宇都宮市	46.5
15	豊中市	49.6	55	岡崎市	46.4
16	豊橋市	49.6	56	和歌山市	46.4
17	鹿児島市	49.5	57	明石市	46.2
18	松本市	49.4	58	三鷹市	46.0
19	鳥取市	49.3	59	高崎市	46.0
20	富山市	48.9	60	一宮市	45.9
21	西宮市	48.7	61	春日井市	45.9
22	松江市	48.6	62	流山市	45.9
23	静岡市	48.5	63	高知市	45.8
24	秋田市	48.3	64	水戸市	45.8
25	出雲市	48.2	65	青森市	45.7
26	久留米市	48.2	66	千葉市	45.7
27	佐賀市	48.2	67	枚方市	45.5
28	松山市	48.2	68	府中市	45.2
29	大分市	48.2	69	和泉市	45.1
30	吹田市	48.0	70	福島市	45.1
31	長崎市	47.9	71	函館市	45.0
32	長野市	47.9	72	さいたま市	45.0
33	奈良市	47.8	73	旭川市	45.0
34	大津市	47.8	74	堺市	44.3
35	つくば市	47.8	75	東広島市	44.3
36	山口市	47.7	76	小田原市	44.3
37	浜松市	47.7	77	甲府市	44.2
38	山形市	47.5	78	姫路市	44.2
39	茨木市	47.5	79	郡山市	44.2
40	浦安市	47.4	80	佐世保市	44.1

苫小牧市、八戸市、いわき市、日立市、伊勢崎市、太田市、川崎市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、上尾市、草加市、越谷市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、柏市、市原市、八千代市、八王子市、立川市、調布市、町田市、小平市、日野市、西東京市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、大和市、長岡市、上越市、沼津市、富士市、四日市市、鈴鹿市、宇治市、岸和田市、八尾市、寝屋川市、東大阪市、尼崎市、伊丹市、加古川市、倉敷市、呉市、福山市、下関市、那覇市

(市区町村コード順)



シニア

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	松本市	52.9	41	府中市	47.7
2	仙台市	52.1	42	奈良市	47.6
3	福岡市	51.4	43	神戸市	47.6
4	広島市	51.3	44	秋田市	47.3
5	豊橋市	51.1	45	茨木市	47.2
6	金沢市	50.7	46	宇都宮市	47.0
7	長野市	50.5	47	新潟市	47.0
8	出雲市	50.3	48	徳島市	46.9
9	宮崎市	50.2	49	福井市	46.9
10	浦安市	50.1	50	札幌市	46.9
11	盛岡市	50.0	51	大津市	46.8
12	高槻市	49.9	52	高知市	46.8
13	熊本市	49.9	53	東広島市	46.8
14	浜松市	49.9	54	宝塚市	46.7
15	西宮市	49.6	55	松山市	46.5
16	佐賀市	49.2	56	高松市	46.1
17	松江市	49.1	57	京都市	46.1
18	岐阜市	49.1	58	水戸市	46.0
19	前橋市	48.9	59	調布市	45.8
20	静岡市	48.9	60	枚方市	45.7
21	豊田市	48.8	61	明石市	45.6
22	つくば市	48.8	62	岡山市	45.6
23	山形市	48.5	63	小田原市	45.4
24	三鷹市	48.4	64	福島市	45.3
25	山口市	48.4	65	郡山市	45.3
26	吹田市	48.4	66	日立市	45.2
27	長崎市	48.3	67	佐世保市	45.1
28	久留米市	48.3	68	所沢市	45.0
29	富山市	48.3	69	平塚市	45.0
30	鳥取市	48.2	70	八王子市	44.8
31	大分市	48.1	71	流山市	44.8
32	安城市	48.0	72	北九州市	44.8
33	横浜市	47.9	73	宇治市	44.7
34	豊川市	47.9	74	千葉市	44.6
35	高崎市	47.9	75	藤沢市	44.5
36	名古屋市	47.9	76	和泉市	44.4
37	岡崎市	47.8	77	一宮市	44.4
38	豊中市	47.8	78	旭川市	44.3
39	津市	47.8	79	立川市	44.2
40	鹿児島市	47.7	80	甲府市	44.2

81 函館市, 苫小牧市, 青森市, 八戸市, いわき市, 伊勢崎市, 太田市, さいたま市, 川崎市, 熊谷市, 川口市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 習志野市, 柏市, 市原市, 八千代市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 川崎市, 相模原市, 横須賀市, 鎌倉市, 茅ヶ崎市, 厚木市, 大和市, 長岡市, 上越市, 沼津市, 富士市, 春日井市, 四日市市, 鈴鹿市, 大分市, 堺市, 岸和田市, 八尾市, 寝屋川市, 東大阪市, 姫路市, 尼崎市, 伊丹市, 加古川市, 和歌山市, 倉敷市, 呉市, 福山市, 下関市, 那覇市

(市区町村コード順)



観光客

指標数35/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	54.0	41	さいたま市	31.9
2	京都市	53.8	42	高松市	31.9
3	横浜市	52.2	43	鳥取市	31.9
4	福岡市	45.9	44	岡山市	31.7
5	名古屋市	45.0	45	三鷹市	31.3
6	神戸市	43.1	46	大分市	31.2
7	広島市	40.7	47	佐賀市	31.2
8	仙台市	39.7	48	調布市	31.2
9	金沢市	39.6	49	藤沢市	31.1
10	札幌市	38.7	50	豊田市	31.0
11	奈良市	38.6	51	高知市	30.9
12	静岡市	38.6	52	水戸市	30.9
13	盛岡市	37.5	53	宇治市	30.8
14	松本市	36.0	54	宝塚市	30.8
15	鎌倉市	35.9	55	つくば市	30.7
16	長崎市	35.6	56	青森市	30.5
17	浦安市	35.4	57	下関市	30.4
18	熊本市	35.2	58	横須賀市	30.4
19	北九州市	34.9	59	倉敷市	30.4
20	函館市	34.2	60	八王子市	30.3
21	鹿児島市	34.1	61	川崎市	30.2
22	松江市	34.1	62	山形市	30.2
23	府中市	33.9	63	岡崎市	30.2
24	長野市	33.9	64	那覇市	30.0
25	新潟市	33.9	65	津市	30.0
26	大津市	33.6	66	沼津市	29.9
27	千葉市	33.4	67	徳島市	29.8
28	岐阜市	33.1	68	長岡市	29.8
29	浜松市	33.0	69	吹田市	29.7
30	松山市	33.0	70	豊橋市	29.6
31	山口市	33.0	71	川崎市	29.5
32	西宮市	33.0	72	福島市	29.5
33	姫路市	32.8	73	立川市	29.4
34	出雲市	32.7	74	高崎市	29.4
35	高槻市	32.3	75	久留米市	29.4
36	小田原市	32.2	76	東広島市	29.4
37	和歌山市	32.0	77	佐世保市	29.3
38	富山市	32.0	78	福井市	28.9
39	秋田市	32.0	79	豊中市	28.8
40	宮崎市	31.9	80	甲府市	28.7

旭川市, 苫小牧市, 八戸市, 郡山市, いわき市, 日立市, 宇都宮市, 前橋市, 伊勢崎市, 太田市, 熊谷市, 川口市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 習志野市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 相模原市, 平塚市, 茅ヶ崎市, 厚木市, 大和市, 上越市, 富士市, 一宮市, 春日井市, 豊川市, 安城市, 四日市市, 鈴鹿市, 堺市, 岸和田市, 枚方市, 茨木市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 尼崎市, 明石市, 伊丹市, 加古川市, 呉市, 福山市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	56.5	41	船橋市	26.7
2	名古屋市	47.7	42	鹿児島市	26.6
3	福岡市	45.1	43	厚木市	26.5
4	横浜市	40.4	44	長野市	26.4
5	京都市	35.9	45	流山市	26.3
6	浦安市	35.5	46	川口市	26.2
7	神戸市	35.1	47	福山市	26.2
8	札幌市	34.6	48	豊橋市	26.1
9	仙台市	33.5	49	北九州市	26.0
10	つくば市	31.5	50	鎌倉市	26.0
11	川崎市	31.3	51	高槻市	26.0
12	豊田市	31.3	52	宝塚市	25.9
13	安城市	31.2	53	久留米市	25.9
14	三鷹市	31.0	54	熊本市	25.8
15	調布市	30.5	55	西東京市	25.8
16	吹田市	30.5	56	藤沢市	25.7
17	府中市	30.4	57	郡山市	25.6
18	金沢市	30.4	58	鈴鹿市	25.6
19	さいたま市	30.1	59	富山市	25.6
20	広島市	29.8	60	尼崎市	25.5
21	立川市	29.7	61	宮崎市	25.4
22	静岡市	29.1	62	那覇市	25.4
23	市川市	29.1	63	豊川市	25.3
24	四日市市	28.9	64	福井市	25.3
25	岡山市	28.8	65	堺市	25.2
26	豊中市	28.7	66	佐賀市	25.1
27	西宮市	28.7	67	松山市	25.0
28	小平市	28.6	68	宇都宮市	25.0
29	浜松市	28.6	69	新潟市	25.0
30	岐阜市	28.4	70	高松市	24.9
31	松本市	28.2	71	伊丹市	24.9
32	岡崎市	28.0	72	町田市	24.8
33	茨木市	28.0	73	盛岡市	24.8
34	東広島市	27.5	74	倉敷市	24.7
35	習志野市	27.3	75	春日井市	24.7
36	千葉市	27.3	76	八千代市	24.6
37	日野市	27.2	77	相模原市	24.6
38	柏市	27.1	78	津市	24.5
39	大津市	27.0	79	一宮市	24.4
40	八王子市	26.9	80	松戸市	24.3

81 函館市,旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,秋田市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,甲府市,沼津市,富士市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,山口市,徳島市,高知市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/87

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	51.6	41	伊丹市	32.4
2	名古屋市	46.4	42	山口市	32.4
3	福岡市	44.5	43	岡山市	32.3
4	横浜市	40.1	44	茨木市	32.1
5	浦安市	39.4	45	宮崎市	32.0
6	川崎市	36.7	46	習志野市	31.9
7	京都市	36.7	47	鳥取市	31.8
8	広島市	36.4	48	新潟市	31.6
9	三鷹市	36.2	49	堺市	31.5
10	神戸市	35.3	50	札幌市	31.4
11	静岡市	35.2	51	松山市	31.3
12	豊中市	35.2	52	山形市	31.3
13	調布市	35.1	53	高松市	31.2
14	鹿児島市	35.1	54	高槻市	31.0
15	尼崎市	34.9	55	さいたま市	31.0
16	西宮市	34.7	56	豊橋市	31.0
17	熊本市	34.4	57	秋田市	30.8
18	佐賀市	34.4	58	豊田市	30.6
19	金沢市	34.4	59	下関市	30.6
20	府中市	34.2	60	津市	30.6
21	久留米市	34.1	61	八千代市	30.5
22	東広島市	34.0	62	四日市市	30.5
23	吹田市	34.0	63	東大阪市	30.4
24	市川市	33.9	64	長崎市	30.3
25	福井市	33.7	65	奈良市	30.1
26	安城市	33.7	66	八尾市	30.0
27	岐阜市	33.7	67	函館市	30.0
28	松本市	33.4	68	一宮市	30.0
29	つくば市	33.2	69	甲府市	30.0
30	富山市	33.2	70	日野市	29.9
31	高知市	33.1	71	福島市	29.9
32	千葉市	33.0	72	岸和田市	29.8
33	盛岡市	33.0	73	浜松市	29.7
34	長野市	32.8	74	小田原市	29.5
35	仙台市	32.8	75	平塚市	29.3
36	出雲市	32.7	76	徳島市	29.3
37	立川市	32.7	77	船橋市	29.2
38	川口市	32.6	78	小平市	29.2
39	北九州市	32.6	79	岡崎市	29.2
40	松江市	32.5	80	福山市	29.2

旭川市,苫小牧市,青森市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,西東京市,相模原市,横須賀市,鎌倉市,藤沢市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,沼津市,富士市,春日井市,豊川市,鈴鹿市,大津市,宇治市,枚方市,寝屋川市,和泉市,姫路市,明石市,加古川市,宝塚市,和歌山市,倉敷市,呉市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位4区について、指標グループ別レーダーチャート※を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

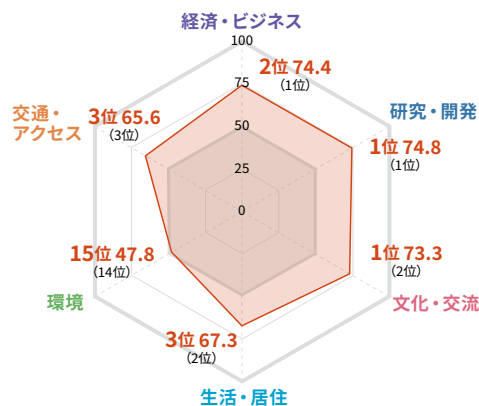
※偏差値は東京23区内で算出。また、グラフの形は偏差値を表す。

1 港区

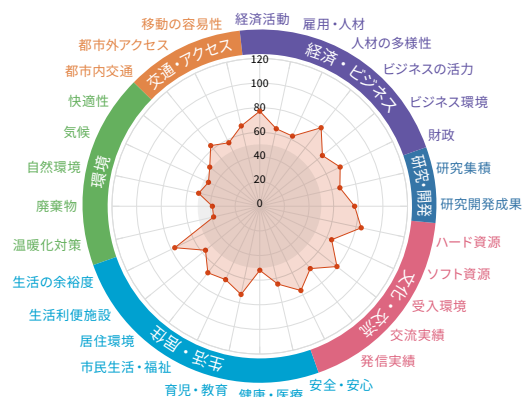
MINATO-CITY



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

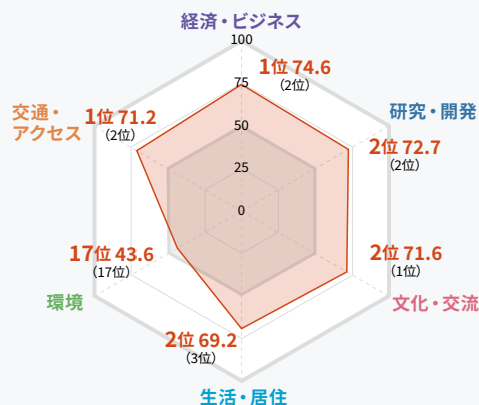


2 千代田区

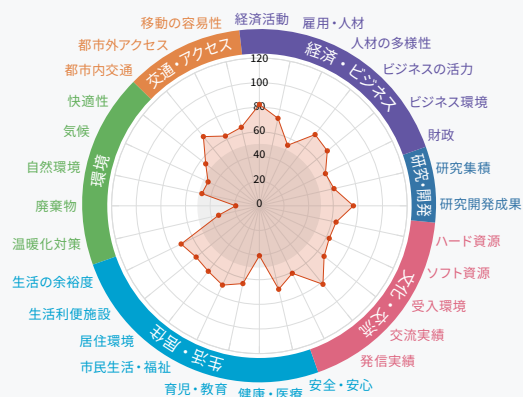
CHIYODA-CITY



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

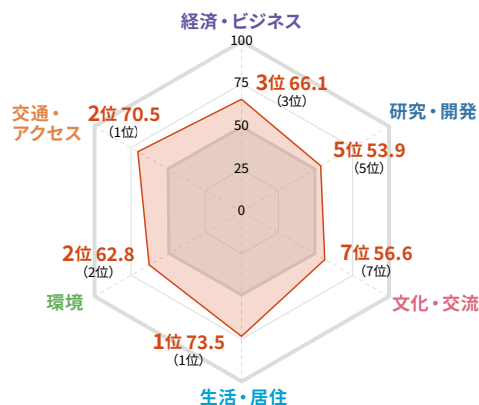


3 中央区

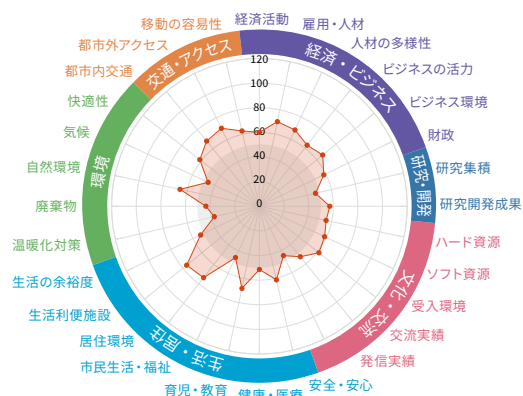
CHUO-CITY



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値

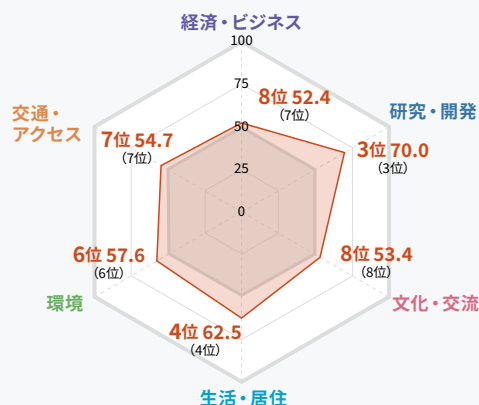


4 文京区

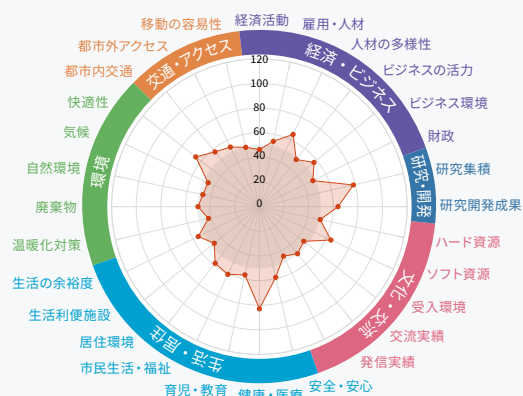
BUNKYO-CITY



分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	425.0
2	港区	423.4
3	中央区	364.7
4	渋谷区	322.0
5	新宿区	282.0
6	品川区	272.5
7	目黒区	272.2
8	文京区	268.1
9	豊島区	245.4
10	江東区	242.4
11	台東区	234.1
12	中野区	230.4
13	世田谷区	228.3
14	杉並区	224.2
15	墨田区	223.0
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	79.0
2	千代田区	73.9
3	文京区	67.5
4	新宿区	54.7
5	中央区	29.6
6	目黒区	25.4
7	江東区	17.3
8	渋谷区	16.3
9	世田谷区	14.9
10	大田区	14.8
11	品川区	13.4
12	豊島区	13.0
13	板橋区	8.4
14	台東区	7.0
15	荒川区	5.0
16 23	墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	港区	225.9
2	千代田区	216.6
3	渋谷区	159.0
4	江東区	157.7
5	新宿区	149.6
6	台東区	138.5
7	中央区	132.3
8	文京区	114.5
9	豊島区	99.6
10	墨田区	95.6
11	品川区	93.5
12	世田谷区	72.7
13	大田区	70.9
14	目黒区	68.6
15	中野区	55.1
16 23	杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	中央区	405.6
2	千代田区	384.7
3	港区	375.6
4	文京区	352.5
5	渋谷区	341.8
6	台東区	307.3
7	新宿区	304.6
8	目黒区	299.0
9	品川区	294.1
10	豊島区	291.9
11	杉並区	288.2
12	世田谷区	286.1
13	練馬区	281.6
14	墨田区	270.2
15	中野区	268.8
16 23	江東区, 大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	274.0
2	中央区	260.8
3	杉並区	254.8
4	練馬区	254.2
5	江戸川区	253.2
6	文京区	248.5
7	葛飾区	244.0
8	世田谷区	243.1
9	墨田区	242.1
10	目黒区	238.0
11	大田区	238.0
12	品川区	235.9
13	北区	234.3
14	中野区	226.4
15	港区	225.4
16 23	千代田区, 新宿区, 台東区, 渋谷区, 豊島区, 荒川区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	186.3
2	中央区	185.0
3	港区	176.1
4	渋谷区	166.4
5	台東区	163.9
6	新宿区	160.5
7	文京区	156.2
8	品川区	154.9
9	江東区	153.8
10	大田区	151.0
11	荒川区	143.5
12	豊島区	142.8
13	墨田区	139.1
14	目黒区	137.8
15	中野区	137.5
16 23	世田谷区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	港区	1,505.4
2	千代田区	1,502.0
3	中央区	1,378.1
4	文京区	1,207.4
5	渋谷区	1,193.5
6	新宿区	1,132.1
7	江東区	1,098.4
8	台東区	1,064.9
9	品川区	1,064.4
10	目黒区	1,041.1
11	豊島区	981.0
12	墨田区	973.6
13	世田谷区	972.7
14	杉並区	954.8
15	大田区	944.6
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」（シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者）を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、87指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数25/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	65.8
2	千代田区	62.5
3	港区	58.5
4	文京区	55.9
5	渋谷区	52.1
6	品川区	50.7
7	台東区	50.5
8	目黒区	49.7
9	杉並区	48.4
10	練馬区	47.6
11	世田谷区	47.4
12	新宿区	47.3
13	江東区	47.2
14	豊島区	47.1
15	中野区	45.6
16 23	墨田区、大田区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数42/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	58.9
2	港区	54.6
3	千代田区	53.7
4	文京区	51.6
5	渋谷区	47.7
6	台東区	46.3
7	目黒区	46.2
8	品川区	46.0
9	江東区	45.3
10	杉並区	45.2
11	練馬区	44.9
12	墨田区	44.6
13	世田谷区	44.5
14	新宿区	44.0
15	大田区	42.6
16 23	中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	59.1
2	千代田区	57.0
3	港区	54.3
4	文京区	53.7
5	渋谷区	48.6
6	品川区	47.3
7	目黒区	46.9
8	台東区	46.4
9	杉並区	46.4
10	江東区	46.1
11	墨田区	45.9
12	練馬区	45.4
13	世田谷区	44.9
14	新宿区	44.7
15	大田区	43.5
16 23	中野区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数35/87

順位	都市名	スコア
1	千代田区	50.9
2	港区	50.0
3	中央区	48.1
4	江東区	42.4
5	渋谷区	40.4
6	台東区	39.8
7	文京区	38.7
8	新宿区	37.4
9	品川区	34.9
10	墨田区	34.5
11	世田谷区	31.9
12	目黒区	31.8
13	大田区	31.8
14	豊島区	31.1
15	杉並区	30.9
16 23	中野区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/87

順位	都市名	スコア
1	千代田区	66.4
2	港区	66.2
3	中央区	55.7
4	渋谷区	48.7
5	新宿区	45.6
6	文京区	42.4
7	品川区	41.7
8	江東区	40.8
9	目黒区	39.8
10	豊島区	38.4
11	台東区	37.3
12	大田区	35.4
13	中野区	34.9
14	世田谷区	34.4
15	杉並区	34.3
16 23	墨田区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/87

順位	都市名	スコア
1	中央区	68.2
2	千代田区	64.4
3	港区	60.1
4	渋谷区	55.6
5	新宿区	52.3
6	台東区	52.2
7	文京区	50.8
8	品川区	49.0
9	目黒区	48.2
10	豊島区	48.1
11	墨田区	46.1
12	江東区	43.7
13	大田区	42.5
14	中野区	42.4
15	荒川区	41.6
16 23	世田谷区、杉並区、北区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区 (市区町村コード順)	

SNS動画分析

SNS Video Analysis

1 背景と目的

「日本の都市特性評価(JPC)」では、主たる評価手法として分野別評価が用いられている。しかし、都市の特性をより的確に把握するためには、俯瞰的かつ多角的な視点からの分析が求められる。

そこで本特集研究では、SNSに投稿された動画の分析を通じて都市の特徴を可視化し、各都市や地域に固有の特性やアイデンティティを明らかにすることを試みた。

2 分析データ

対象メディア：TikTok(<https://www.tiktok.com/>)に投稿された動画

分析単位：動画の1投稿につき1シーン以上を代表的な静止画として抽出。

抽出ルールは当研究所が定義したルールに基づく。

対象期間：2022年1月～2025年4月

投稿件数：1都市につき500件。500件に満たない場合は可能な範囲で収集。

抽出条件：ハッシュタグ「#都市名」

表記ゆれや類似タグも一部対象とした。例:「#渋谷」「#渋谷区」「#渋谷カフェ」など。

対象都市：JPC2025対象の136都市、および東京23区

3 分析手法

投稿動画から静止画を抽出(1シーンを1枚の画とする)し、画像内の主な被写体(中心的・面積比の大きい対象物)を抽出。

当研究所がファインチューニングした画像認識AIを用い、以下の3段階で分類・整理した。

- ・カテゴリ分類(例:人物・自然・飲食・建築物など)
- ・特徴抽出(例:感情、色彩、服装、ブランドなど)
- ・都市別傾向のクラスタリング分析



結果 - ユニークカテゴリー

動画内に映る主な被写体は、画像認識AIで分析し、関連性の高いもの同士を16カテゴリーに分類した。以下は、各都市における投稿内容がどのカテゴリーに多く現れているかの割合を表にしたものである。概要版では対象136都市のうち、大阪市・名古屋市・福岡市・横浜市・京都市の5都市と、東京23区から港区・千代田区・中央区の3区を対象に、それぞれの都市の投稿傾向を紹介する。

大分類	カテゴリ・シーン紹介		大阪市	名古屋市	福岡市	横浜市	京都市	港区	千代田区	中央区
屋内	飲食	レストラン、カフェ、バーの店内、または食べ物や飲み物のクローズアップ	11.4%	11.6%	15.0%	12.7%	14.0%	15.9%	11.0%	19.9%
	買い物	ブティック、コンビニ、スーパーマーケットなどの商業施設	15.7%	17.0%	15.0%	15.9%	16.9%	13.5%	10.6%	12.9%
	文化・娯楽施設	美術館、映画館、水族館などの、文化施設や娯楽施設	9.1%	9.2%	6.4%	7.3%	5.9%	8.3%	8.3%	7.9%
	職場	オフィスや工場、会議室など、仕事に関連する空間	2.1%	1.4%	2.7%	2.8%	2.5%	3.7%	3.3%	3.1%
	地域公共施設	学校、図書館、コミュニティセンター、礼拝所などの内部	3.6%	3.9%	4.7%	3.4%	8.5%	4.7%	7.2%	5.7%
	スポーツ	ジム、ボウリング場、道場、屋内プールなどの運動施設内	2.1%	2.9%	1.8%	2.7%	1.1%	1.3%	7.1%	1.7%
	屋内交通施設	駅構内、空港ターミナル、地下鉄コンコースなどの交通拠点	9.8%	7.5%	4.0%	3.8%	3.5%	3.1%	2.5%	1.0%
	住居	リビング、キッチン、寝室などの住宅内空間	2.3%	1.8%	2.8%	5.1%	2.4%	4.2%	3.0%	10.6%
	車内・車窓風景	自動車、電車、バス、飛行機などで撮影された車内や車窓の風景	7.1%	8.8%	5.6%	6.0%	6.8%	8.7%	4.1%	5.9%
屋外	自然	森林、海岸、山、公園などの自然風景	0.4%	0.8%	2.2%	0.7%	1.7%	0.7%	1.4%	0.7%
	市街地	街の通り、交差点、路地、商店街などの都市部	10.1%	6.7%	6.1%	6.2%	3.6%	5.8%	7.9%	6.5%
	文化・史跡	神社、寺院、城など、歴史的または文化的なランドマーク	10.3%	10.5%	11.7%	10.2%	19.3%	13.3%	16.7%	8.0%
	屋外交通施設	線路、空港、港など、屋外の交通インフラ	5.4%	4.7%	4.1%	6.0%	3.3%	3.3%	2.5%	1.7%
	レクリエーション	遊園地、運動場、公園の遊具など、屋外でのレジャー活動	4.0%	3.4%	3.5%	6.0%	2.5%	2.8%	4.6%	3.4%
	眺望	高所から街や風景を見渡すパノラマビュー	1.3%	2.2%	1.8%	1.1%	1.4%	2.7%	1.4%	1.2%
	イベント	祭り、コンサートや市場（マーケット）など、屋外での集まり	5.4%	7.7%	12.7%	10.0%	6.6%	7.9%	8.4%	9.8%

結果 - カテゴリー比率と投稿時間

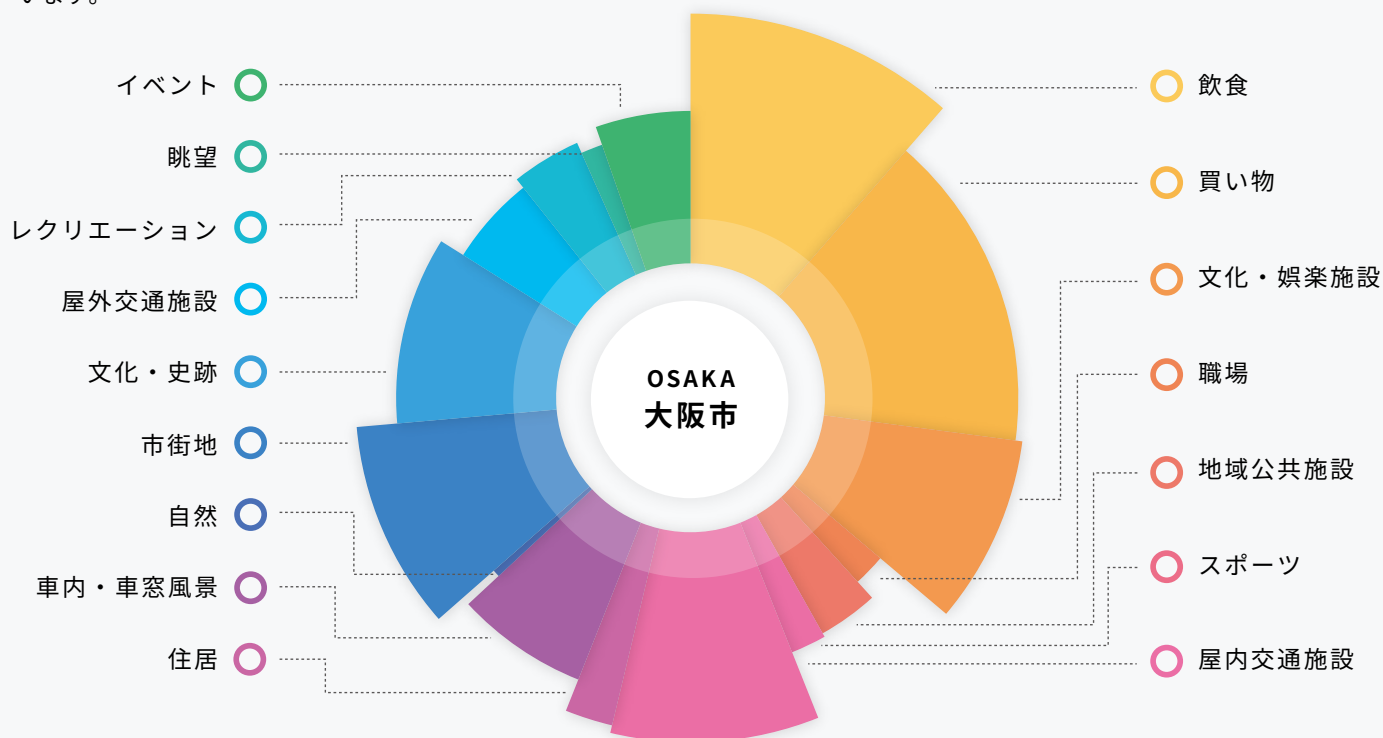
次頁のチャートは、各都市におけるカテゴリー別の傾向を視覚化したものである。扇形の角度は全体の投稿数に対する各カテゴリーの割合を示し、どのカテゴリーの投稿が多いかがわかる。また、扇形の長さは1投稿あたりの画像枚数（フレーム数）の平均をあらわし、そのカテゴリーに関連する投稿時間が長いことを示している。

本概要版では、対象136都市から大阪市・福岡市・京都市、東京23区から港区を紹介する。

※JPC対象159都市のデータは森記念財団ウェブサイトに掲載。全都市分の結果は2025年9月下旬公開予定。

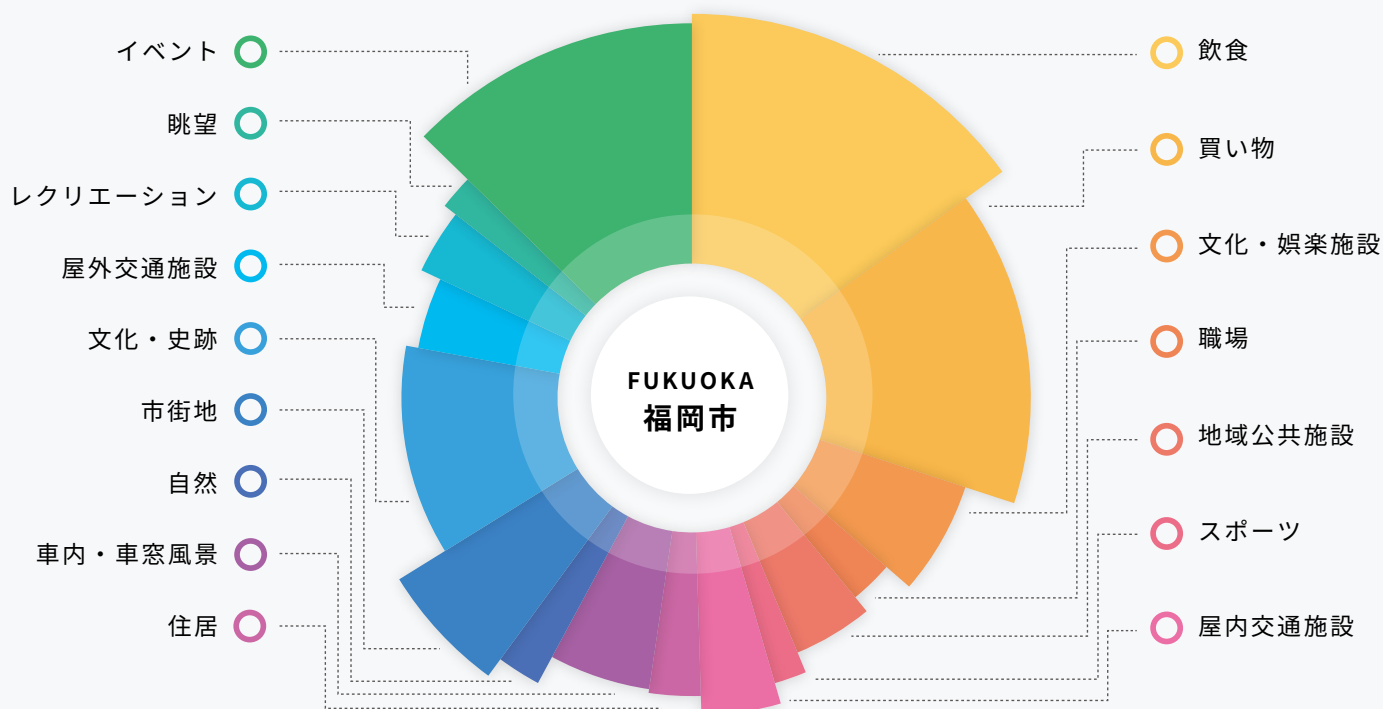
■ 大阪市

大阪市は、商業が活発でにぎやかな大都市というイメージが映像上でも色濃く現れています。動画で最も多く登場するのは「買い物」や「飲食」といった屋内施設ですが、特に、串焼きや居酒屋など“食”に関するコンテンツのシーンは、印象的な一瞬として比較的長く映し出されており、関心の高さがうかがえます。また、「屋内交通施設」などのシーンも比較的長く、都市の忙しさや活気が視覚的に伝えられている点も特徴です。大阪市の動画コンテンツは、人・モノの流れやにぎわいをダイナミックに描き出しています。



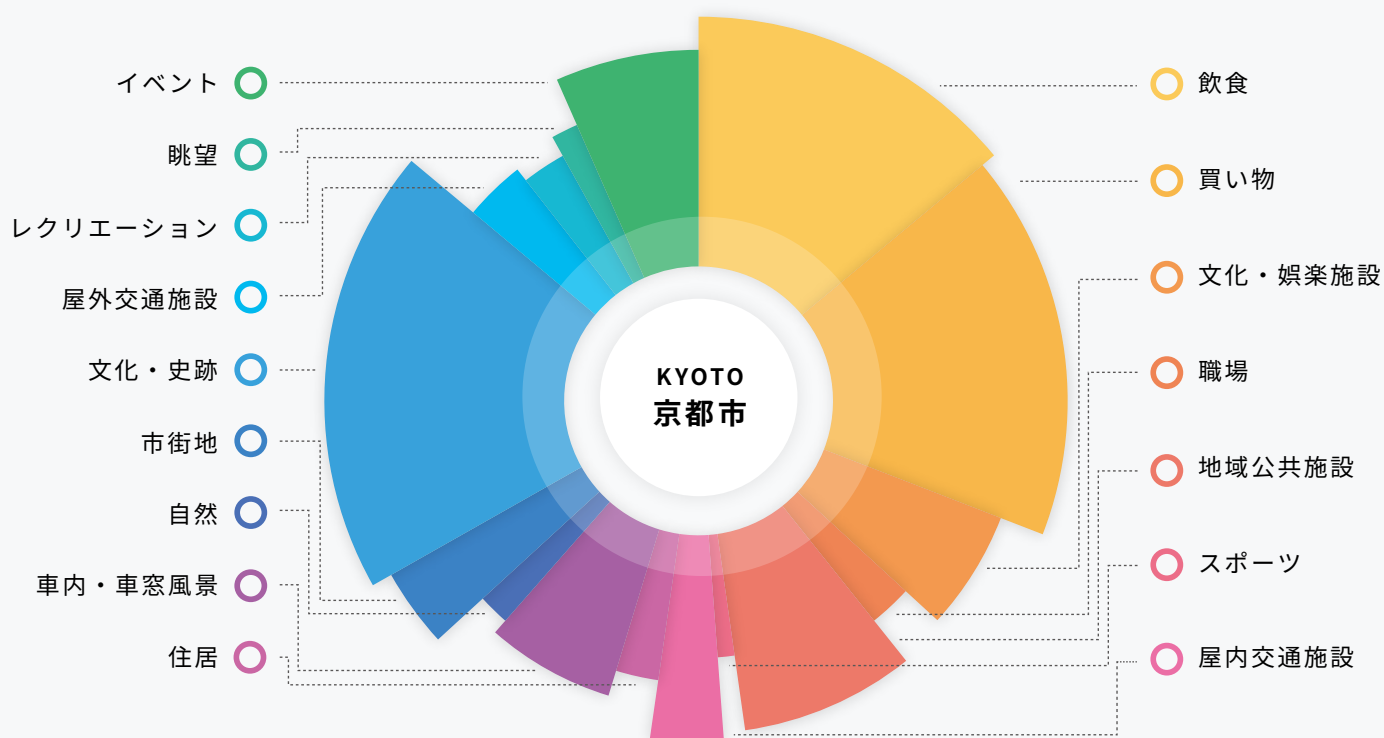
■ 福岡市

福岡市は、若いエネルギーとエンターテインメント性を兼ね備えた都市として映像内でも存在感を放っています。「買い物」「飲食」「イベント」が主要な要素であり、特に音楽イベントや地元グルメなどは、比較的長く映し出される傾向があります。これらのシーンが印象的な一瞬として捉えられることから、視聴者の関心が強く向けられていることが読み取れます。コンテンツのテンポが速い中でも、これらの要素に対する注目度は高く、福岡市が西日本の文化・エンタメ発信地としての役割を担っていることが、動画の内容からも浮かび上がっています。



■ 京都市

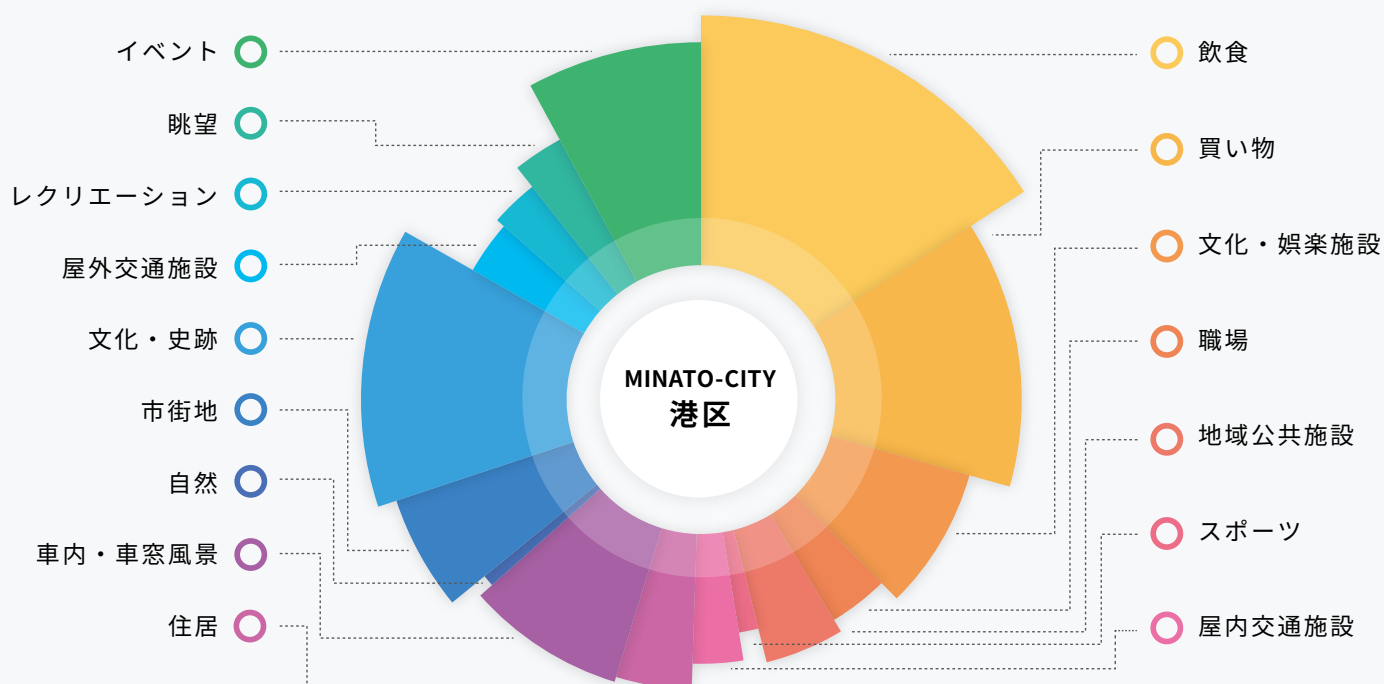
京都市の動画コンテンツでは、“伝統”と“観光地のにぎわい”という二面性が表現されています。最も多く登場するのは神社仏閣などの「文化・史跡」シーンで、短いながらも印象的なカットとして強い存在感を示しています。2番目に多い「買い物」シーンも、同程度の時間映されており、歴史的名所と並んで買い物の魅力にも視線が注がれていることが分かります。伝統と現代が共存する京都市ならではのバランスが視覚的にも際立っており、“奥深い都市”としての姿が印象づけられています。



特集研究

■ 港区

港区は、現代的で高級感のある東京の都市像を体現するエリアとして、多様な魅力を発信しています。登場頻度では「飲食」「買い物」「文化・史跡」の3カテゴリがバランス良く出現している点が特徴です。中でも「文化・史跡」シーンは他のシーンと比べてやや長く映し出されており、アートや文化的体験などに対して投稿者や視聴者がより多くの関心を向けていることがわかります。日常のグルメや買い物と並び、知的・文化的な体験が発信されることで、港区の“洗練されたエリア”というイメージが描き出されています。



指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）および森記念財団が実施した居住者アンケート（計9指標）を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の(1)および(2)の通りである。

(1) 統計資料などにもとづく定量データ（計79指標）

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2025年1月～3月

(2) 居住者アンケート（計9指標）

- ・調査方法：インターネット調査
- ・回答者：18歳以上の対象159都市の居住者
- ・有効回収数：計47,700人（各都市300人）。男女比は1：1、年代は18歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6：4とした。
- ・調査時期：2025年3月
- ・調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「総支出（地域内ベース）」（出典：環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」）。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率（従業地・通学地による人口を常住地による人口で除した割合）。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数－全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計（労働力状態、就業者の産業など）」に掲載の高等教育修了者（卒業者 短大・高専／卒業者 大学／卒業者 大学院）を同調査の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成22年時点の高等教育機関へ入学する前の世代（15～19歳）の人口と、同調査結果における令和2年時点の高等教育を修了した世代（25～29歳）の人口の増減比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」における15～64歳の女性就業者数を、同年齢層の総就業者数で除した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」における「就業状態等基本集計（労働力状態、就業者の産業・職業など）」に掲載の15歳以上の外国人就業者数を、同調査の15歳以上の就業者数で除した値。掲載がない都市は各都道府県労働局に掲載の数をを用いた。該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」における「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」に掲載の65歳以上就業者数を、同調査の65歳以上人口で除した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、過去5年間に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS（地域経済分析システム）」における「付加価値額（企業単位）」（出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工）を、総務省統計局の「経済センサス-活動調査結果」における「産業（小分類）別従業者数－全国、都道府県、市区町村」に掲載の「従業者数」（A～R 全産業（S公務を除く））で除した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を労働力人口で除した値。
		14	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」の「建築物：市区町村別、用途別（大分類）」のうち、「L 不動産業用建築物」の過去3か年における床面積の平均値。
	ビジネス環境	15	特区制度認定数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区数をそれぞれ指数化し、合算した値。（なお、都道府県レベルで認定されたものは、0.5の重みづけを行った）。
		16	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」（A～R全産業（S公務を除く））で除して算出した割合。
		17 Q	フレキシブルワークスタイル実施率	居住者アンケート「あなたの会社が整備しているフレキシブルな働き方の項目にチェックを入れてください。（複数回答可）」の問いにおける選択肢「テレワーク（在宅勤務など）、オンライン会議、フレックスタイム制、副業・兼業、サテライトオフィス・シェアオフィスやコワーキングスペースの利用、週休3日制度、ワーケーション・長期休暇・育児休暇や介護休暇の利用、多拠点生活」の過去2か年の結果の平均値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「財政力指数」。東京23区は東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載の「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載の「将来負担比率」。東京都23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関 従業者割合	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「事業所に関する集計」に掲載の「学術・開発研究機関」の従業者数を、従業者数(A～R 全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング 日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。(2) Times Higher Educationの "World University Rankings"に掲載の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省 科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載の、2012-2021年の総論文数が500件以上の日本の大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載の個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNii Articles」における2021-2023年の年間平均投稿数を算出。大学等が複数拠点を有する場合には年間平均投稿数を拠点数で等分し、それぞれの拠点へ割り当てた。各都市に所在する施設ごとの論文数を合計し、都市別の論文投稿数として推計した。
		25	グローバルニッチ トップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選選定企業一覧」に掲載の企業の本社、営業所、事業所などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典：特許庁「特許情報」)に掲載の特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
文化・交流	ハード資源	27	観光地の数・評価	トリップアドバイザーの「観光」における「名所・見どころ」、「公園・自然」、「アウトドア アクティビティ」、「美術館・博物館・ミュージアム」、「動物園・水族館」、「アクティビティ・ゲームセンター」、「劇場・コンサート」、「テーマパーク」の8カテゴリーの観光地数と口コミ数(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除外)をそれぞれ指数化し合算した値。
		28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載の建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値：世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)。
		29	景観まちづくりへの 積極度	次の2つの数値の合計値：(1) 国土交通省「景観法の施行状況」に掲載の、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)。(2)『都市景観の日』実行委員会による、平成23年度以降の「都市景観大賞『都市空間部門』『景観まちづくり活動・教育部門』および『景観づくり活動部門』『景観教育・普及啓発部門』」の各賞を受賞した地区または活動数、平成13年度～平成22年度の「都市景観大賞『美しいまちなみ賞』」の各賞を受賞した地区数、平成3年度～平成12年度の「都市景観100選」を受賞した都市数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。
	ソフト資源	30	イベントの数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「イベント」の数を指数化した値。(2) 公益財団法人日本観光振興協会「ジャパン・ヨннаナ・ゴー」の「全国観光情報データベース」のうち、「イベント・祭り」に登録されている件数を指数化した値。
		31	クリエイティブ産業 従業者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する37の産業小分類を選定した。同調査「事業所に関する集計」に掲載の当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除した割合。
		32 Q	文化・歴史・伝統への 接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか」の過去3か年の結果の平均値。
	受入環境	33	宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設の総客室数。
		34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の客室総数。
		35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 公益社団法人全国公立文化施設協会の「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載の公立文化施設の座席数を指数化した値。(2) 株式会社アイデアログの「会場ベストサーチ」に掲載のホテルの宴会場の収容人数を指数化した値。掲載のない都市については、株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載の宿泊施設のうち、宴会場を有するホテルの客室数から推計した。
		36	観光案内所・病院の 多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載されている観光案内所数を、その観光案内所の多言語対応や観光案内の提供範囲等で区分されたカテゴリーで重みづけをした値を指数化した値。(2) 日本政府観光局「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載の医療機関数を指数化した値。
	交流実績	37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2022年7月～12月、2023年1月～6月の14時時点、15歳以上80歳未満人口の12か月平均値)」(出典：株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」)を夜間人口で除した値。
		38	行楽・観光目的の 訪問の多さ	日本観光振興協会の「デジタル観光統計オープンデータ」に掲載の、過去1年間の「市区町村観光来訪者数」。
		39	国際会議・展示会 開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載の「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区については開催場所が明記されている一部の国際会議のデータに基づき、区別の開催件数を推計)。(2) 株式会社ピーオービー「展示会データベース」に掲載の「展示会開催件数」を指数化した値。
	発信実績	40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省観光庁「観光地域づくり法人(DMO) 法人一覧」に掲載のDMOについて、市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点として、法人数に重みづけをして指数化した値(東京については、独自調査により法人を追加)。(2) ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載の過去5年の出展団体(民間を除く)について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域・都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点として、団体数に重みづけをして指数化した値。
		41	自治体SNS フォロワー数	Facebook、X、Youtube、Instagramにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)のフォロワー数が最大のものをSNSごとに抽出し、それぞれを指数化し合算した値。
		42 Q	魅力度・認知度・ 観光意欲度	居住者アンケートにて、無作為に抽出された居住都市以外の3都市に対する「認知度」「魅力度」「観光意欲度」についての過去3か年の結果の平均値。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
生活・居住	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ インフォメーション」に掲載の、過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載の、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値。(2)同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値。(3)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「浸水想定区域面積」を総面積で除した値。(4)国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計値を総面積で除した値。(5)総務省消防庁「火災年報」に掲載の「出火件数 全件」を昼間人口(万人あたり)で除した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査」における、「居住世帯の有無(8区分) 別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数・市区町村」に掲載の「居住世帯なし」の「空き家」のうち「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」に区分される住宅数を、同調査の住宅総数で除して算出した値。
	健康・医療	47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載の「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(2)同調査における一般診療所数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。(3)同調査における病床数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)厚生労働省「市区町村別生命表の概況 統計表1」の市区町村別平均寿命、(2)浜松医科大学「都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載の合計特殊出生率(バイズ推定値)。
		51	育児・教育関連給付金の多さ	株式会社 Zaim「わたしの給付金」に掲載の、市区町村による18歳以下が対象の育児・教育関連の給付金施策の数。
		52	子どもの医療費支援	こども家庭庁「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3 市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載の医療費援助(通院)および(入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7～9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点、24歳年度末6点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1)学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載のフリースクール数を指数化した値。(2)代表的な高校偏差値情報サイトに掲載の偏差値65以上の高校数を指数化した値。
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	一般財団法人自治体国際化協会の「多文化共生ツールライブラリー」に掲載の多文化共生のための取り組み数。市レベルの取り組みは1点、県レベルの取り組みは0.5点として指数化した。
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載の第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市、豊川市、鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を夜間人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「自治体DX・情報化推進概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の「行政サービスの向上・高度化」のうち、住民のオンライン利用の促進や住民サービス向上に向けた取り組みに関する項目を集計し過去3か年の平均を算出した値。
	居住環境	58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防犯性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか」の過去3か年の結果の平均値。
		59	新規住宅供給の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表 着工住宅：都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載の、新設の床面積合計(m ²)の過去5か年の平均を、夜間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
	生活利便施設	61	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「各種商品小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
		62	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
		63	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載のコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
	生活の余裕度	64	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載の、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系 市区町村データ 基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		65	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」における「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在市および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用した。
		66	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別家計収支に関する結果に掲載の「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した：(1)同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2)代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定 義
環境	温暖化対策	67	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		68	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室＋認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「永続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力＋熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用＋農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	廃棄物	69	一人一日あたりゴミの排出量の少なさ	環境省環境再生・資源循環局の「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の「ごみ処理の概要」の「1人1日当たりの排出量」の合計値。東京23区は公表されていないため、東京二十三区清掃一部事務組合「清掃事業年報」に掲載の「区による生活系ごみ収集量」の比率によって、環境省環境再生・資源循環局「一般廃棄物処理実態調査」に掲載の23区合計のごみ発生量を按分し、各区の人口で除した値。
		70	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載のリサイクル率(リサイクル率 R')。東京23区については「東京都23区分」の値。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか」の過去3か年の結果の平均値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除して算出した値。「都市地域」とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの「都市地域」を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除した値。水辺面積の推計には以下の基準を適用した。①面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。②線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた。「MapPackage」における水域の取得基準により、水域の数値が0と扱われる場合がある(2) 国土交通省「かわまちづくりウェブサイト」に掲載の「かわまちづくり計画」を策定している市区町村に1点、および「かわまちづくり大賞」を受賞している市区町村には受賞1回につき1点を付与し、その合計値を算出した。
	気候	74	年間日照時間	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の合計日照時間。
		75	夏の涼しさ	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の6月～9月の期間(122日)で不快指数が75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3 (Tは気温℃、Hは湿度%)
		76	冬の暖かさ	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載の、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の30年間の月平均気温が5℃を下回る月の「5℃-月平均気温」の合計値。
交通・アクセス	快適性	77	空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NO _x)」の濃度と「微小粒子状物質(PM _{2.5})」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。
		78 Q	街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか」の過去3か年の結果の平均値。
		79 Q	快適性の満足度	居住者アンケート「現在お住まいの都市の環境の快適性(大気の状態、騒音の程度、悪臭の程度など総合的に)に対して、どの程度満足していますか」の過去2か年の結果の平均値。
	都市内交通	80 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の過去3か年の結果の平均値。
		81	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載の鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。
		82	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載の旅行速度整理表(都道府県別道路種別別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。
	都市外アクセス	83	空港アクセス時間の短さ	対象都市の市区役所から2時間以内で到達可能な空港(対象空港)までの平均所要時間。平均所要時間は次の2つの数値をもとに算出した：(1) Googleマップで算出した市区役所から最寄り空港までの最短アクセス時間(平日朝10時着、自動車利用)、(2) 国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」にもとづく空港別年間旅客者数(国内線・国際線合計)。
		84	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」から取得した新幹線の停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、対象都市内で乗降客数が最大の駅から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅は、個別にデータを収集した。(2) 新幹線の停車駅までの移動時間。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の最も乗降客数が多い駅から最も近い新幹線の停車駅までの移動時間とする(平日朝10時到着、鉄道による移動)。なお、新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合はスコアを0とした。
		85	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。
	移動の容易性	86	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中央値。
		87 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した：(1) RYDE株式会社「RYDE CYCLE」、およびナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数。(2) 居住者アンケート「主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」に対する選択肢(徒歩、自転車、キックボード、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち、自転車の占める過去3か年の割合の平均値。

Q：居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2025年9月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2025 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n
P o w e r
C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness